

福岡大学 FUKUOKA UNIVERSITY MAGAZINE

# 学園通信

No.70

特集 ▶ 「ウイズコロナ」を考える



CONTENTS

02 特集 「ウィズコロナ」を考える

- 03 福岡大学長からのメッセージ
- 05 新型コロナウイルス感染症とは?
- 06 福岡大学病院で実施されるPCR検査
- 07 コロナ患者の最後の砦 福大病院のECMOセンター
- 08 コロナ禍が後押しとなり専門医の遠隔診療が実現
- 09 コロナ禍で見えてきた日本社会の心理学
- 10 ウィズコロナ (with-coronavirus) の生活とストレス
- 11 RNA編集技術の可能性
- 12 ミトコンドリアと自然免疫の関係
- 13 始まった遠隔授業 これからの学び方
- 14 オンライン授業と著作権
- 15 ウィズコロナを機に住環境を考える
- 16 これからのICT
- 17 コロナ禍を乗り切る銀行の打つ手は?
- 18 コロナウイルスが九州経済へ与える影響
- 19 現場の薬剤師が見た新型コロナウイルス感染症
- 20 病気に負けない食生活～免疫力を高めるために～
- 21 ステイホームで変わった? eスポーツとゲーム産業
- 22 国交と貿易情勢はコロナ後にどうなるのか?
- 23 #スポーツを止めるな2020 ユニバス UNIVASと福大の取り組み
- 24 運動不足解消のために効果的なエクササイズを
- 25 時代を駆ける先輩たち
 

九州電力キューデンヴォルテクス(ラグビー)ヘッドアナリスト 戸田 尊さん	福岡市住宅都市局 都市計画部 都市計画課 淡島 正憲さん
---	------------------------------------
- 29 就活メモリー
 

株式会社JTB 高田 有莉咲さん	株式会社西日本シティ銀行 荒木 優希さん
---------------------	-------------------------
- 福岡県立小倉南高等学校定時制 教諭  
牛島 直輝さん
 

福岡県立福岡中央高等学校 教諭 東 弘樹さん
---------------------------
- 31 ヒポクラテスの系譜
 

福岡大学筑紫病院 柴田 陽三病院長	福岡大学病院 最先端口ロボット手術センター
----------------------	--------------------------
- 33 奨学・特待生制度
- 35 寄付者ご芳名一覧
- 39 ななくま通信

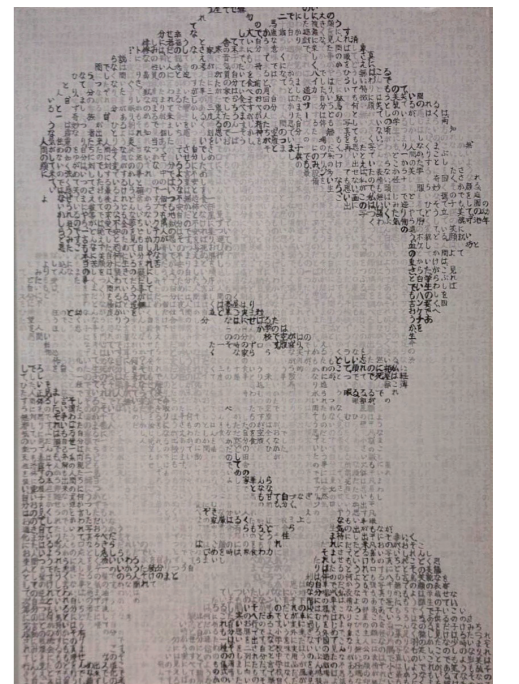
建学の精神

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

教育研究の理念

「人材教育」と「人間教育」の共存  
「学部教育」と「総合教育」の共存  
「地域性」と「国際性」の共存

学生制作の作品紹介



「太宰治」  
作品紹介

太宰治の代表作「人間失格」の文章で太宰治を描きました。一度鉛筆で書いた文章の上から、濃さの違う絵の具を使って濃淡の差をつけ、太宰治を浮かび上がらせています。写真では分かりにくいですが、縁にも文章が書かれています。

本棚をぼんやりと眺めていたところ「人間失格」がふと目に留まり、思い付きで挑戦しました。試行錯誤を繰り返し、かなり時間を要しましたが、完成した時の達成感は何物にも代え難いものでした。ふとした思い付きが作品制作に結び付くところを面白いと感じています。今後も変わった手法で作品を作れたらと思います。

人文学部 3年次生  
梅木 舞乃作

2020年、未知のウイルスの影響で、世界は大きく変化しています。これからの「ウィズコロナ」の時代、私たちに一体何ができるのか。今号の特集では、コロナ禍における福岡大学の取り組みや、各分野の研究者の声を通じて見えてきた「ウィズコロナ」をお伝えします。

※掲載内容は取材時のものです。

## COVID-19 関連ニュース

## 皆さまのご寄付にも支えられています

令和2年1月1日から6月30日までの期間に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に対するご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。(「福岡大学学生サポート募金」へご寄付をいただいた方々は、p.36にご芳名を掲載させていただきます)

## ■ 寄付・支援内容一覧

福友会	5,000,000円
一般社団法人 福岡大学同窓会有信会	1,000,000円
福岡大学医学部同窓会烏帽子会	1,000,000円
匿名様	1,000,000円
小野寺 一浩様	100,000円
秋吉 浩三郎様	100,000円
松木 敏浩様	100,000円
福岡大学病院 薬剤部	100,000円
岡村 みどり様	5万円未満
下岸 希久子様	5万円未満
匿名様	5万円未満

なお、福岡大学学生サポート募金の目的が「学生の教育、学習及び生活に関する支援」であることから、福岡大学学生サポート募金で集まった寄付金は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で家計が急変した世帯の本学学生に対する経済支援に活用いたします。

## COVID-19 関連ニュース

家計に影響を受けた  
学生への奨学制度について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で家計が急変した世帯の学生に向けて、奨学制度等を通じた経済支援を行っています。国の高等教育修学支援新制度をはじめ、福岡大学独自の奨学制度や授業料減免制度も整っています。詳細はp.33をご覧ください。

<奨学金関連のお問い合わせ先>  
学生課 奨学金係 (内線:2654~2656)

## COVID-19 関連ニュース

経済的に困窮している本学学生に対し  
1,000万円のご寄付をいただきました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、家計急変やアルバイト収入の大幅な減少などにより修学に支障を来す恐れのある学生に対して、中央資材株式会社 取締役会長の中島剛様より1,000万円のご寄付をいただきました。贈呈式には、寄付に際してご尽力いただいた衆議院議員の鬼木誠様にもご出席いただきました。寄付金は「福岡大学学生サポート募金」として受領し、前述のような状況下で困窮する学生への支援に活用します。



(左から)鬼木様、中島様、学長、事務局長

## COVID-19 関連ニュース

新型コロナウイルス感染症で困窮する学生へ  
福岡大学同窓会有信会より  
1,000万円の寄付をいただきました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に困窮する在学学生を支援するため、一般社団法人福岡大学同窓会有信会より福岡大学へ、9月25日(金)に1,000万円の寄付をいただきました。寄付金は、有信会大野憲俊理事長より朔啓二郎学長へ贈呈されました。



## COVID-19 関連ニュース

フェースシールド量産のため  
同窓会2団体より寄付をいただきました

福岡大学ものづくりセンターでは医学部と工学部が連携し、4月からフェースシールドの製作および医療機関等への無償配布を続けています。この取り組みには、一般社団法人福岡大学同窓会有信会および福岡大学医学部同窓会烏帽子会に賛同いただき、支援金として100万円ずつ寄付をいただきました。これにより、設備増強と量産化を果たすことができました。

ニューノーマルを見据えて  
New Life、New 福大へ。  
～私たちが試されている～

学長  
朔啓二郎 教授(医学部)  
SAKU Keijiro

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、人々の命を脅かしています。医療従事者をはじめ、さまざまな立場でコロナウイルス対策にご尽力されている方々に心より敬意を表します。一方で、青春真っ只中の学生の皆さんが、キャンパスに集い、学び、語り、交流を深められないことを思うと、痛切の極みであります。私も学生時代を経験した一人として、キャンパスでの充実した日々は、友や恩師と密に同じ時を過ごし、自由闊達な意見交換をすることが基盤であると確信しています。一日も早く現状が開閉されることを祈っているところです。

しかし、現状を嘆いてばかりいても何も始まりません。この状況下でも自らを高める方法を見だし、必死に成長しようとしている皆さんと同世代が世界中の至る所にいるはず。コロナが終息したとき、あるいはコロナが続いていくとしても、必死に頑張つて自らを高めた人間が真っ先に新しい時代に順応し、リードし、豊かな人生を歩んでいくことは想像に難くないでしょう。そう考えると、まさに今、私たち一人一人が試されているのです。神が試しているのか、変わることを求めている未来が試しているのか、それは分かりませんが、固定観念や先入観、慣習や慣例から脱却するに絶好の機会と捉えると、制約になっていた多くのことをこのコロナのせいにして取っ払うことができそうです。コベルクスの発想の実現が案外容易かもしれません。

勿論このことは、学生の皆さんだけでなく、地球上の全人類にとって同じであり、試されていると捉えるべきです。いわんや私にとつても、学生の皆さんがこの状況下でも質の高い教育を受けられ、充実したキャンパスライフを送ることができると環境づくりを行えるか試されていることも十分承知しています。私は医師であります。命の大切さにさらに鋭敏になり、皆さんの安全安心を総合的に考え、社会情勢に合わせながら対策を講じてまいります。

さて、それではこのニューノーマル時代をどう生き抜いていくのか。模索を重ね、不断のアップデートが必要なのは言うまでもありませんが、私から一つ考え方をご紹介いたします。参考にしていただくと幸いです。私は医学研究者として、医師として40年以上過ごしてきました。研究者は実にさまざまな方面から研究にトライするのですが、その研究は「人の役に立つものでなければならぬ、人の痛みを取り除けるものでなければ意味がない」と強く感じています。医師が目の前にいる患者さんの苦しみを取り除かないで何になるのかと思うのです。私の行う仕事は誰かの役に立たないようでは生きていく甲斐がないではないかと思うのです。

つまり、私たちは他者の痛みや苦しみを、苦難を解決するために存在し、働いていると捉えられるのではないのでしょうか。コロナ禍において、これまで想像だにできないかたちで苦しんでいる人が大勢います。そのような

人々を救うために自分は何ができるのか、将来自分は苦しんでいる人をどのように助けたいのか、そのために必要な力や知識経験は何なのか。どのような世界が待っているか歴史を紐解き、現実をしっかりと観察して想像力を膨らませながらイメージすると、そこに自分が活躍し、存在意義を感じられる姿が思い浮かんでくるのではないのでしょうか。

人類の歴史は感染症との歴史と言われています。人類は新たな感染症が発生するたびにそれら乗り越え、現在の繁栄を築いています。答えは明確なものです。最終的にCOVID-19を我々は克服するのです。大切なのは、そこに至るまでの過程で私たち一人一人がどう考え、どう勇気を持って行動するかだと思います。コロナ禍は世の中の行動様式と人々の意識を劇的に変える絶好の機会であるのですから、その機会を生かさない手はありません。皆さん、どのような状況下でもポジティブなマインドを持って頑張つていこうではありませんか。

福岡大学のスローガン「[Rise with US]」をご存じですか。「共にステップアップする」というメッセージです。在学生2万人、卒業生27万人、教職員4,100人、一緒に頑張ってNew Life、New 福大をつくっていきましょう。

※コロナ禍における本学の具体的な対応は、公式ウェブサイト、FUポータルからお伝えしています。見逃すことがないようにしてください。

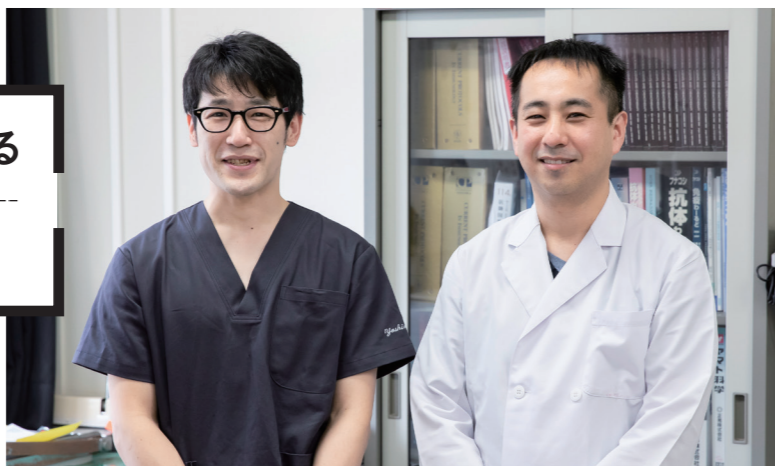
Focus / 02

## 福岡大学病院で実施される

### PCR検査

医学部 微生物・免疫学講座  
吉村 芳修 助教  
YOSHIMURA Michinobu  
研究テーマ  
感染症研究

福岡大学病院 再生医療センター  
吉松 軍平 准教授  
YOSHIMATSU Gumppei  
研究テーマ  
1型糖尿病に対する膵島移植



吉村先生(左)と吉松先生

PCR検査とは、感染が疑われる人の鼻の奥の粘膜や唾液から検体を採取し、その中の遺伝子にウイルスの遺伝子が含まれているかを調べるものです。新型コロナウイルスはRNAウイルスで微量のため、検体から取り出したRNAをDNAに逆転写し、それを検出可能な量まで増幅させていきます。そのため、症状の有無に関わらず高い精度でウイルスを検出でき、「現在新型コロナウイルスに感染しているか」を診断できます。なお、ウイルス感染に関連した検査は、他にも抗原検査や抗体検査などがあります。抗原検査では、検体からウイルスのタンパク質を抗原抗体反応を用いて検出します。タンパク質はある一定量がなければ検出できず、PCR検査に比べて感度が劣るため現時点では症状がある人に行われます。また、抗体の有無を見る抗体検査は、ウイルス感染歴の有無を調べるもので、必ずしも現時点で感染しているかどうかを反映するものではありません。

大学病院では基礎疾患を抱えた患者さんや手術を控えた患者さんが多くいて、感染すると重症化する可能性があります。もし誰かが感染すれば病院内でクラスターが発生し、医師や看護師不足を招き、医療崩壊につながるかねません。首都圏を中心に感染が拡大し、急激に社会に緊張が走った4月初旬、「医療を守るために大学病院をサポートしたい」という医

学部からの提案により本学独自のPCR検査体制が敷かれました。その役目を担ったのが吉松先生、吉村先生ら4人です。当初は検出法は公表されていたもののキット等はなく、マスクや防護服はあろうか、検体採取のための綿棒すら品薄の状態でした。検出試薬や検体は1マイクロリットル単位と微量かつ正確な操作が必要で、高い精度が求められます。また、新型コロナウイルスは感染力が強いので、検体の採取や、検査室までの運搬、検出などの手順を細かく決め、感染防御や確認作業に関わる人員を十分に配置する必要もありました。

報道される感染者数は日に日に増え、急を要します。4人の先生は医学部の検査機器を病院に持ち込み、大学病院と医学部で連携を図って情報を一つずつ整理し、細かな作業手順を準備していったと振り返ります。試行錯誤を繰り返しながらも4月下旬には検査体制が整い、関係者から少しだけ安堵の声が上がりました。現在、福岡大学病院では、手術などの処置を控えた患者さんや症状のある患者さん、必要に応じて医師や看護師らの医療スタッフを対象にPCR検査を実施しています。

緊急事態宣言が発表された頃、「オーバーシュート(爆発的患者急増)を恐れた」と話す吉松先生。「その回避のため、いち早く検査体制を整ってよかった」と胸をなで下ろします。また「医学部だけでも病院の医師・看護師だけ



福岡大学病院で使われているPCR検査機器

新型コロナウイルス感染症の検査について			
検査種類	主な検体	調べるもの	判定時間 <small>※検査機関や方法によって異なる</small>
PCR検査	唾液、 鼻咽頭ぬぐい液 <small>※1</small>	ウイルスを特徴づける遺伝子配列	数時間+ 検査機関への 搬送時間
抗体検査	血液	免疫グロブリンというタンパク質(抗体)	約15分~
抗原検査	鼻咽頭ぬぐい液 <small>※1</small>	ウイルスを特徴づけるタンパク質(抗原)	約30分~

※1 鼻咽頭ぬぐい液…綿棒を鼻やのどに突っ込んで採取する体液

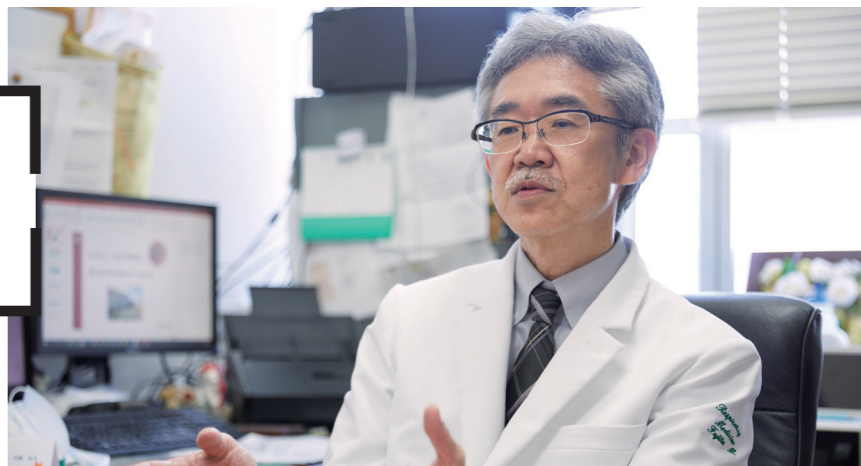
でも検査体制の実現はかなわず、検査部など多くの協力があつたからこそできた」とも振り返ります。そこには「医療を守る」という人々の使命感と、医学部と病院の連携、そして関係する人々のチームワークがありました。

Focus / 01

## 新型コロナウイルス

### 感染症とは？

医学部 呼吸器内科学講座  
藤田 昌樹 教授  
FUJITA Masaki  
研究テーマ  
呼吸器内科学、感染症



ウイルス名称・病名	ヒトにうつる7種のコロナウイルス			
	新型コロナウイルス	通常の コロナウイルス	重症急性 呼吸器症候群	中東 呼吸器症候群
COVID-19	229E, OC43, NL63, HKU1	SARS	MERS	
感染源	コウモリ?	不明	コウモリ ハクビシン	ラクダ (1歳以下)
感染経路	接触・飛沫感染 (エアロゾル感染?)	接触・飛沫感染	接触・飛沫感染	接触・飛沫感染
潜伏期間	2~14日間	2~5日間	2~7日間	2~14日間
症状	発熱、咳、息切れ、呼吸困難、下痢、肺炎、ARDS(急性呼吸窮迫症候群)			

参考:公立衛生病院 感染症内科資料「新型コロナウイルスのNow!」(武藤 義和先生)

### 新型コロナウイルスに関するQ&A

Q 「飛沫感染」「接触感染」とは?

A 「飛沫感染」:感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること。  
「接触感染」:感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で触れた場所を他の人が触ることでウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることでより粘膜から感染すること。  
※WHOは、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面で最大72時間、ボール紙で最大24時間生存するとしている。

Q 新型コロナウイルスに感染すると抗体・免疫ができるか?

A 抗体が作られることは確かだが、その持続期間、効果、変異への対応などの詳細は明らかになっていない。WHOは「新型コロナウイルス感染症にかかった人が必ずしも免疫を獲得し、再感染しなくなるの保証はない」と発表(2020年4月)。したがって、「自分は一度コロナにかかったので大丈夫」といった行動は、自身を守る観点でも他者に感染させない観点でも避けるべき。

参考:厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)」

「特定のメディアの情報のみに惑わされることのないよう、裏付けデータの有無を確認することが重要。また、他者にうつさないという目的でマスクの着用は有効です」。どうすれば「3密」を避けられるか、重症化しやすい高齢者にうつさないためにはどうしたらいいかなど、他者を思いやる気持ちを持って行動してほしいと話します。「併せて、日本では自分の体調が悪かったり、お子さんが発熱したりしたとき、仕事を休みにくい雰囲気があります。社会全体で感染拡大を防ぐためには、薬や治療の開発を待つと同時に、病気がかかってしまった他者を許容することも大切なのではないでしょうか。

新型コロナウイルスについて連日、さまざまな報道が続く中で、私たちはむやみに怖がり、逆に鈍感になり過ぎていたりするかもしれない。本学医学部で呼吸器系の感染症を専門とする藤田昌樹先生は「正しい知識を持ち、正しく怖がるのが大切ですよ」と強調します。新型コロナウイルスにはさまざまな種類がありますが、多くは人間以外の動物に病気を引き起こしますが、7種類はヒトにうつることが知られています。そのうち三つは重症化する可能性があり、近年、大規模な集団感染を起こしています。

「これは、2002年に中国で発見されたSARSで、2004年以降は症例がありません。次に2012年にサウジアラビアで発生したMERSは、今も新たな症例が報告されています。そして今回の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年に中国武漢で特定され、世界中に拡大しています。時間の経過とともにようやくウイルスの実体が分かり始めました。COVID-19は、他の二つに比べて感染力が強い一方で、死亡率は低いという特徴があるようです」と説明します。また、ワクチンや治療薬の研究も各国で進められています。日本の場合には患者数や費用面など臨床研究の部分で難しい点があり、なかなか進んでいないと言います。

偏りのない情報を得て、人にうつさない行動を

新型コロナウイルス感染症に関しては、世界各国の研究者や研究機関から次々と最新のデータや分析結果が発表されています。潜伏期間は2日から14日間、陽性でも無症状の人が多く、症状が出た場合は、発熱と咳の症状が高い確率で出ています。相談や受診の目安として、厚生労働省は当初「風邪の症状や、37.5度以上の発熱が4日以上続く」場合としていましたが、5月にその記載が削除されました。1日だけ高熱が出ても陽性というケースがあると分かったからです。また、嗅神経の機能が低下して、嗅覚・味覚障害になる確率が5割を超えるというデータもあります。このような症状があれば、自治体の相談窓口か、近所のかかりつけの医療機関に相談してください。

最後に、感染拡大を防ぐために必要な心掛けについて助言を頂きました。

## コロナ禍が後押しとなり

## 専門医の遠隔診療が実現

福岡大学病院 脳神経内科  
診療部長  
坪井 義夫 教授  
TSUBOI Yoshio  
研究テーマ  
神経内科学、パーキンソン病、運動障害疾患



**パーキンソン病外来で  
遠隔診療がスタート**

今年8月から福岡大学病院脳神経内科でパーキンソン病の患者さんを対象に遠隔診療がスタートしました。

パーキンソン病は、脳内のドーパミン神経細胞の減少によって手の震え、動作に衰えが生じるなどの症状を起こす病気です。50歳以上で起きやすく、全国に約15万人の患者がいますが、専門医による診療や、服薬とリハビリなどの治療で、生活能力は向上すると言われています。

脳神経内科の診療部長を務める坪井義夫先生は、以前から「慢性期の疾患はオンライン診療が向いているのではないかと考えてきました。特にパーキンソン病は歩行障害を起し、転倒の危険もあります。同伴者を必要とし、タクシーで通院したりと、通院にかかる患者さんの身体的・経済的な負担は大きいものです。

2018年、厚生労働省が遠隔診療に関する指針を発表しました。それをきっかけに坪井先生は、患者さんの負担軽減と再来診察の効率化に向けて遠隔診療の方法を模索してきました。その折に、新型コロナウイルス感染症が発生し、感染が拡大。「高齢の患者さんが多く、通院による感染が危惧されたため準備を一気に進め、今回の導入に至りました。

**タブレットを使って診察  
患者さんのメリットは大きい**

遠隔診療は、専用のアプリを使いテレビ電

話のようなかたちで行います。患者さんはすでに持っているタブレットやスマートフォンで十分に対応できます。現在、月曜の午前中を遠隔診療に充て、患者さんは事前に予約して自宅で待機。予約時間になったらインターネットに接続し、坪井先生はタブレットを介して患者さんを診察します。手をカメラに向けてもらって震えの状態を見たり、リハビリの様子を聞いたり、内容は従来の対面診療と変わりません。

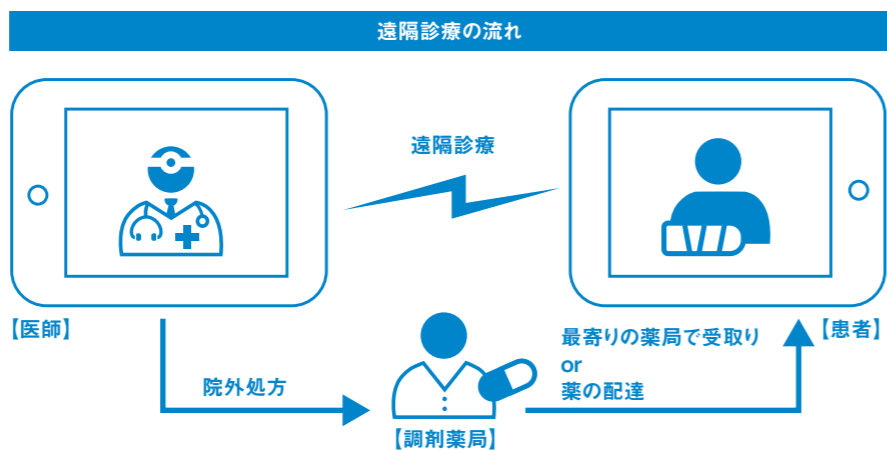
遠隔診療の手応えについて坪井先生は「患者さんは移動や待ち時間のストレスが無く、内蔵カメラの性能も上がっているため、対面診療と遜色ない診療ができています」と言います。

対面診療では、いざ診察室に座ると相談したかったことをすっかり忘れてしまった、という患者さんもいる中、「遠隔診療であれば、日常のリラックスした状態で話がしやすいので、患者さんにとってはメリットばかりだと思います」と先生。当初セキュリティ面が懸念事項でしたが、専用のタブレットを用意し、通信の暗号化や、専用端末内には一切記録を残さないなどの対策を徹底しました。個人情報を守るため、診察内容は別のパソコンで電子カルテに入力します。

「遠隔診療は今後、糖尿病や腎臓病などの慢性疾患や、通院が困難な認知症でも活用できるでしょう。地域のかかりつけ医との連携や看護師や栄養士による遠隔指導など、多くの可能性を秘めています」と期待を寄せます。コロナ禍により、さまざまな面でオンライン化が進んでいるように、医療においてもオンライン化は進み、遠隔診療の範囲と利用者はますます増えていきそうです。



タブレットを介して患者さんと話す坪井先生



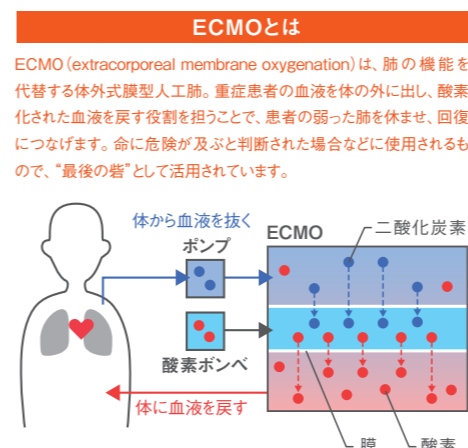
## コロナ患者の最後の砦

## 福大病院のECMOセンター

福岡大学病院 救命救急センター  
診療部長  
石倉 宏恭 教授  
ISHIKURA Hiroyasu  
研究テーマ  
救命救急医学



ECMOセンター設立の記者発表での石倉宏恭センター長



1 カロリンスカ大学病院ECMOセンターで(写真は石倉センター長)  
2 福大病院のECMOセンターではECMO6台を所有 3 最大4人の患者が同時にECMOを使用できる体制を整えている

**呼吸器管理に特化した九州初の  
ECMOセンターを設立**

福岡大学病院は7月1日(水)、新型コロナウイルス感染症による重症呼吸不全患者の治療等の呼吸器管理に特化した「ECMOセンター」を設立しました。呼吸器管理に特化したECMOセンターの設立は、大阪府以西から九州(沖縄県を除く)にかけては唯一で、世界的なECMO組織ELSO(Extracorporeal Life Support Organization)にも加盟しています。重症呼吸不全の患者を積極的に受け入れるとともに、ECMO治療に必要な技術の向上や、世界レベルの人材育成の拠点としての役割も担います。

本病院では今年、新型コロナウイルス感染症の重篤な患者を受け入れ、九州では最多となる10人にECMOを使った治療を行いました(8月15日時点)。そのうち8人が順調に回復し、退院されました。このように、十

分な治療実績を収めています。

**約10年の経験を生かして治療  
九州でのECMO普及に貢献を**

2009年に世界で新型インフルエンザが流行した際、日本にはECMOセンターがまだ一つもなく、ECMO治療によって患者の命を十分に救うことができませんでした。全国の医療機関にECMOの機器はあったものの、適切に扱える人材が不足していたためです。ECMOの治療においては、医師や看護師、技師などの医療従事者に高度な技術が求められ、患者1人に対して最低6人のチーム体制で24時間治療にあたるため、通常の治療の何倍ものマンパワーを要します。

本病院では、翌2010年から救命救急センターの石倉宏恭センター長をはじめ、医師4人と技師2人をECMO治療で高い実績を誇るスウェーデンのカロリンスカ大学病院ECMOセンターに派遣。現地ではECMOを使っている重

症患者がアイスを食べながらテレビを見ている姿に驚き、日本とは導入のタイミングや使い方が大きく違うことに気付きました。その後本病院スタッフは、10年にわたり技術の習得に努めてきました。このような経験があったからこそ、今回コロナに伴うECMO治療で、本病院は高い救命率をあげることができたのです。

今後、コロナやインフルエンザ感染のパンデミックは繰り返し起きる可能性があり、備えが欠かせません。厚生労働省は都道府県単位でECMOの研修会を開催するよう要請しており、九州地区では本病院が講師を務めます。本病院でも研修会を開催するほか、専門医師などが各県に出向いて指導を行っています。ECMOセンター長の石倉教授は「センターに患者を集約することで症例数を増やし、救命率を上げていきたい。センターが核となり、九州におけるECMOの普及や医療技術の向上に貢献したい」と話します。

Focus / 06

# ウィズコロナ (with-coronavirus)

## の生活とストレス

人文学部 教育・臨床心理学科  
**本山 智敬** 准教授  
 MOTOYAMA Tomonori  
 研究テーマ  
 臨床心理学、パーソンセンタード・アプローチ



### こんな症状感じていませんか？

の数が多いほど、ストレスが高い状況と言えます。自分のストレスの原因を考え、同僚や家族など周りの人に相談してください。  
 ※このチェックリストは自己理解に役立つものであって、診断や判定に用いるものではありません。

自分も感染している／したのではないかと恐怖心・不安がある

周りの人には気持ちがわかってもらえない、と感じる

周りからの視線に過敏になる

活動を公表できないこと、活動への承認が弱いことにより、組織に対する怒りや不信感を持つ

活動の中で、いつものようなタッチングや傾聴を十分に行うことができないことへのジレンマを感じる

過度な手洗い、うがいをやる

ウイルスに関する情報を過度にチェックする

体温や体調を強く気にする

近い人から避けられるような経験をやる

他者から孤立、ひきこもる

出典：日本赤十字社 HP「新型コロナウイルス感染症対応に  
 従事されている方のこころの健康を維持するために」



本山先生が研究室で使っているアロマエッセンス。「アロマの香りの他、自然やペットに接することもストレス解消につながります」

**根源的欲求が制限された今、ストレスを感じるのは自然なこと**

「コロナ禍で頻りに耳にした「コロナ疲れ」や「コロナ鬱」。気持ちが落ち込む、イライラするなどの症状は、環境の変化で食事、睡眠、運動のバランスが崩れたことによる「抑うつ状態」で、誰にでも起こり得ると本山智敬先生は言います。

「命にも関わる感染症だけに、私たちは常に気を張り詰めた状態にあります。過剰な防衛反応として怒りの感情が現れるのも、当然考えられることです」

また、私たちに、より根源的なストレスがかかっているとも話します。「動物学者の上野吉一さんによると、「コロナによる生活様式は、ホモ・サピエンスにとっては不自然なものです。人は誰しも生まれた時から接触欲求があり、好意を持った相手に近づこうとします。本能的な行動が制限された今、違和感を覚えるのはごく自然なことなのです」。

世間ではテレワークが進み、大学の授業も

**何気ない対話を大切に、不確かな世界を生きよう**

先行きが見えないことによる大きな不安を抱えながら、今後私たちはコロナのある世界とどう向き合っていけばいいのでしょうか。「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉があります。訳すと、「答えの出ない、対処し

オンラインを利用するようになりました。移動が無いなどの良い面もありますが、ここにも少なからずストレスは存在するようです。「私たちは普段、コミュニケーションの7割以上を非言語で行っています。しかし、オンラインでの非言語情報は限られた視覚情報のみで、圧倒的に言語に頼るしかありません。その他の情報は分からないままか想像で補おうとするため、疲れてしまうのです。ツールの利用はあくまでも手段であって、本来のコミュニケーションに比べると完全ではないと理解して、上手に活用する方がいいでしょう」。こうしたメカニズムを認識しておくだけで、自分にも優しくできるかもしれません。

「私たちが普段、何らかの結論を出すために対話をすることが多い。もちろんそれも重要ですが、今大切にしたいのは、話すこと自体を目的にすることです。カウンセリングでも有効性が認められていますが、何気ない会話が人々を癒やしたり、相互理解を生んだりしています」

話す、は、放す、とも言われ、自分の中にたまった不安や怒りのエネルギーを手放すために重要な役割を果たします。具体的な不平・不満を語らずとも、知人・家族との何気ない雑談が有効だと先生は勧めます。「臨床心理学者のカール・ロジャーズは、「here and now」(このひとときを大切に)」と言いました。今この時を大切に、制約のある環境においても人と対話することを改めて見直していくことは、不確かさの中で生きる私たちの確かな力になるのではないのでしょうか」。

Focus / 05

# コロナ禍で見えてきた

## 日本社会の心理学

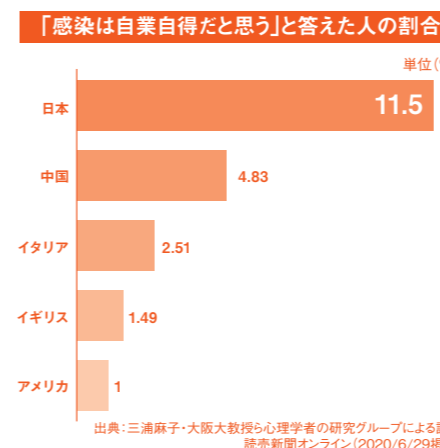
人文学部 文化学科  
**縄田 健悟** 准教授  
 NAWATA Kengo  
 研究テーマ  
 社会心理学、集団力学、組織心理学



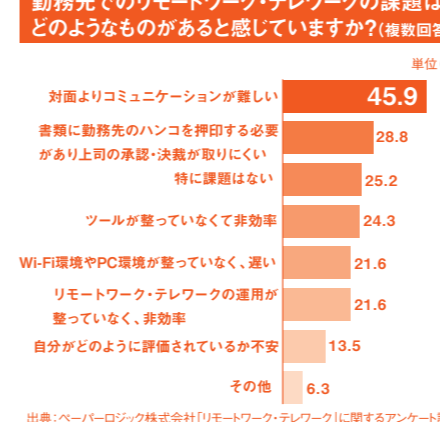
### 自己責任論が強く、過剰反応が起きやすい日本

「日本は同調圧力が強い集団主義社会です」と話す人文学部の縄田健悟先生。今回のコロナ禍で、多くの人がマスクをする、手を洗う、密を避けるという行動に従ったことで、日本におけるコロナの第1波では爆発的な感染拡大を防ぐことができたとも言われています。しかし、同時にプレッシャーを感じながら過ごした人も少なくありません。「和を乱す人をたたく風土があり、自己責任論が強い。コロナ禍においても、感染するのは本人が悪いと考え、人の割合が、日本は他国に比べて多いという調査結果があります」。

日本をはじめ5カ国で各400〜5000人を対象に「感染する人は自業自得だと思うか」という質問に「そう思う」と答えた人の割合は、米国1%、中国4.8%に対して、日本は11.5%と突出して高い結果となりました(左グラフ)。「どんなに気を付けていても、感染してしまうこ



### 勤務先でのリモートワーク・テレワークの課題はどのようなものかを感じていますか？(複数回答)



ともあります。社会として予防行動を推奨しながら、感染した本人を差別したりバッシングしたりしないようにしなければなりません。国民の1割程度でも、ノイジー・マイノリティとなり声高に非難すれば大きな圧力を感じられて、みんなが恐れながら生活することになってしまいます」。

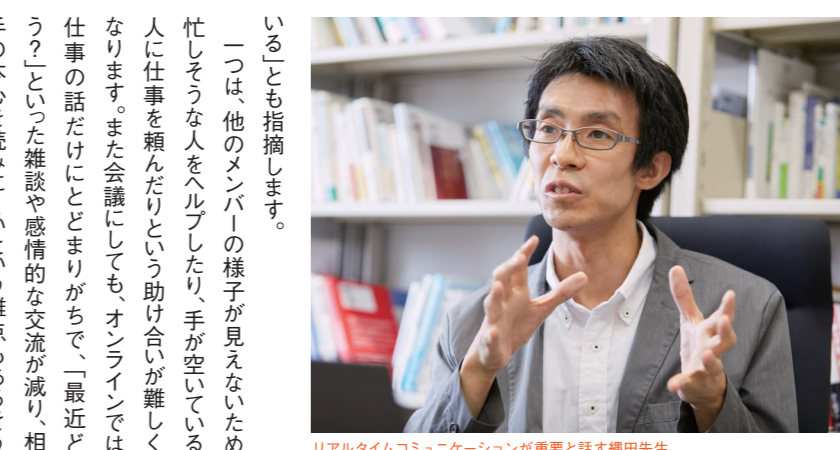
**対人的な交流が減る中で、コミュニケーションの工夫を**

縄田先生は、「企業におけるチームワーク」を研究テーマの一つにしています。これまではオフィスに集まって対面で働くことが大前提となっていました。コロナ禍を機にテレワークも増え、目に見えて働き方が多様になったと言います。また、コミュニケーションのスタイルも対面から電話やメール、Slack、Roadoxといったオンラインツールまで多彩に広がってきました。このような状況からの考察として「オフィスに集まらない働き方が、働く人たちのチームワークにさまざまな変化をもたらしている」

「私たちが普段、何らかの結論を出すために対話をする人が多い。もちろんそれも重要ですが、今大切にしたいのは、話すこと自体を目的にすることです。カウンセリングでも有効性が認められていますが、何気ない会話が人々を癒やしたり、相互理解を生んだりしています」

「私たちが普段、何らかの結論を出すために対話をする人が多い。もちろんそれも重要ですが、今大切にしたいのは、話すこと自体を目的にすることです。カウンセリングでも有効性が認められていますが、何気ない会話が人々を癒やしたり、相互理解を生んだりしています」

働き方や学び方が柔軟になったというメリットと同時に、オンライン化が進むと、企業はもろん社会全体で対人的な交流が減ってしまいます。「対人関係がうまくいかないと仕事のパフォーマンスが低くなるという研究結果もあります。ウィズコロナの時代は、コミュニケーションの工夫を図ることがより重要になってくるでしょう」と縄田先生。さまざまなツールを仕事の効率化のみならず、交流にも積極的に取り入れてみる必要があるそうです。



リアルタイムコミュニケーションが重要と話す縄田先生

Focus / 08

# ミトコンドリアと 自然免疫の関係

理学部 化学科  
小柴 琢己 教授  
KOSHIBA Takumi  
研究テーマ  
ミトコンドリアの生理機能解析

錦織 充広 助教  
NISHIGORI Mitsuhiko  
研究テーマ  
生物化学、タンパク質科学



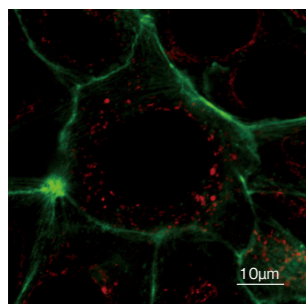
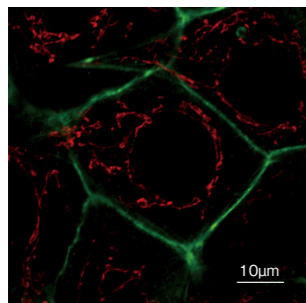
小柴先生(右)と錦織先生(左)

## 細胞内のエネルギーを創り出す ミトコンドリア

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスといった感染症への予防として「免疫力を高める」という言葉を最近よく耳にします。実はこの免疫機能の中で、特に自然免疫と呼ばれる現象では、細胞内に局在するミトコンドリアが重要な働きをすることが近年、知られるようになってきました。そのミトコンドリアの生理機能の一端に関して研究を行っている小柴琢己先生に話を聞きました。「ミトコンドリアは私たちの体内に存在する細胞小器官(オルガネラ)の一つです。その主な役割は、ATP(アデニン三リン酸)と呼ばれるエネルギーの源を産生しており、さまざまな細胞の働きと関係する、いわば司令塔のような存在です」と先生。

そのため、このオルガネラの機能低下は結果として細胞全体の機能不全や、多くの疾患や病態と密接に関係してきます。

ミトコンドリアの形態は細い管のような形をしており、細胞全体に広がって常に分裂と融合を繰り返すダイナミックな状態を保っています



上図:ミトコンドリア(赤色)は細胞内(緑色)で管状の網目構造を形成している。  
下図:一方で、細胞内では分裂したミトコンドリアも観察される。

免疫機能に必要な多くのタンパク質がミトコンドリア上に集まっています。その結果、I型インターフェロンや炎症性サイトカインといった抗ウイルス物質を作った細胞はウ

（左・上図）。最近、このミトコンドリアの形態が、その機能を発動する上で極めて重要であることが分かってきました。小柴先生の研究室では、このようなミトコンドリアのダイナミックな状態が特に自然免疫とどのように関係するのかを興味を持って調べています。

**自然免疫は  
初動の生体防御反応**

生き物は、非自己である異物、例えばウイルスや細菌などを排除する働きを持っています。これがいわゆる免疫反応と呼ばれるものです。免疫反応の中にも大きく分けて二つが存在し、異物と初期に遭遇した際に行われる生体防御反応が自然免疫と呼ばれるもので、一方、抗体などが中心の獲得免疫は、その作動までに時間的なラグが生じます。

近年、ミトコンドリアが自然免疫と関係することが知られるようになり、特に抗ウイルスの自然免疫ではMAVS(マブス)と呼ばれるミトコンドリアのタンパク質が重要な働きを行っていることが分かってきました。

「例えばRNAウイルスが細胞内に入ってくるとMAVSが活性化して、それを足がかりに免疫機能に必要な多

くタンパク質がミトコンドリア上に集まっています。その結果、I型インターフェロンや炎症性サイトカインといった抗ウイルス物質を作った細胞はウ

イルスと戦います」。いわばミトコンドリアが免疫機能を操っているとも言えます。実は、このようなミトコンドリアを介した抗ウイルス自然免疫においても、先に述べたミトコンドリアのダイナミックな特性が大きく関係していることも小柴先生たちの研究で明らかになってきました。

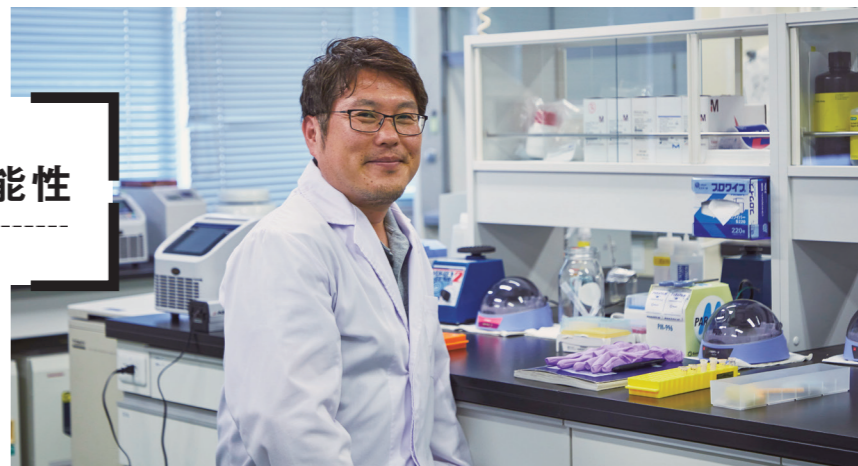


小柴研究室の学生と錦織助教

Focus / 07

# RNA編集技術の可能性

理学部 化学科  
福田 将虎 准教授  
FUKUDA Masatora  
研究テーマ  
RNA編集制御など分子技術の開発



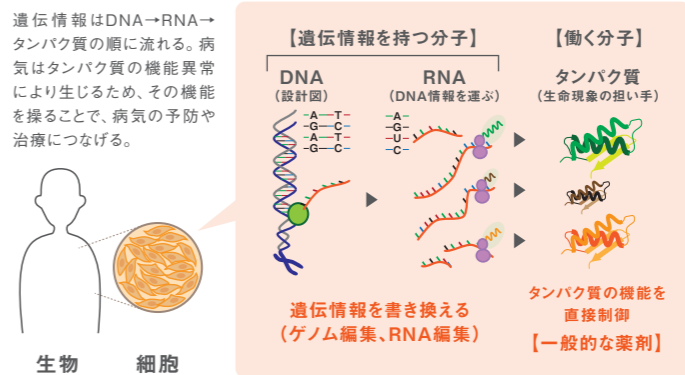
## 新型コロナウイルスは「RNAウイルス」

ウイルスは核酸の形状と増殖機構に基づいて分類されており、今回の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、「二本鎖のRNAウイルス」に分類されています。RNAウイルスを理解する上で、まず「RNAとは何か」を知る必要があると福田将虎先生は話します。

人体を構成する細胞は全部で37兆個あると言われていて、それら一つ一つに、生体に関する全ての情報を持つDNA、つまり遺伝子が含まれており、その情報をもとに生体に必要なタンパク質が作られますが、その際RNAはDNA情報のコピー分子として働きます。実際、細胞内ではDNA情報の一部がRNA上に写し取られ、そのRNA情報に従ってタンパク質が合成されます。これは分子生物学の「セントラルドグマ」と呼ばれ、現存する全ての生物が持つシステムです。

ただ時折、DNAやRNAに変異が起こり、もともとの遺伝情報とは異なるタンパク質が作られることがあります。それが個体の特徴となつて将来的に種の進化へつながることもあれば、治療が難しい病気を引き起こす場合もあると言います。そこで期待されるのが遺伝子改変技術です。すでにがんや遺伝病など難治性疾患の治療に採用されていますが、大本の遺伝情報であるDNAを書き換えるゲノム編集技術では、安全面や倫理面などさまざまな問題にぶつかってしまいます。しかし、いわばコピーであるRNAを書き換えることによる遺伝子改変は一過性で、生体にとって必要

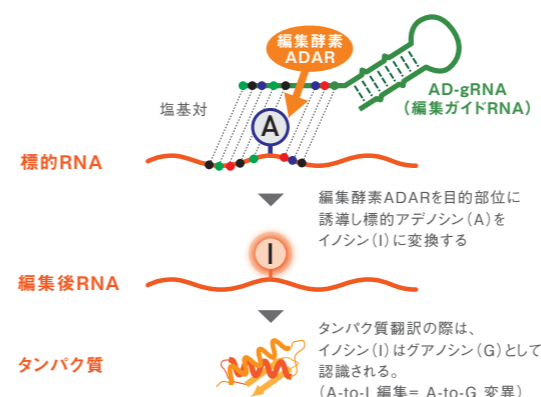
## セントラルドグマ(タンパク質の合成経路)の説明



な遺伝情報に与える影響は少ないと考えられています。実際に福田研究室では、異変が起こった場所に、RNA情報を書き換える酵素(RNA編集酵素)を届け、正常な遺伝情報に修復する機能性RNAを開発し、特許を取得しています。

新型コロナウイルスも含めRNAウイルスは、自らの情報をRNA分子に保存しています。その情報から必要なタンパク質を合成して粒子となり、元の細胞を死滅させて他の細胞へ移り、生体内で広がっていきます。治療薬の開発が急がれますが、ウイルスのRNAにも

## 福田先生が開発したRNA編集技術



変異が見られるようになってきました。「ウイルスのRNA分子を複製する酵素を機能性RNAによって変異させ、増殖できないようにするなど、打つ手は考えられます。ただ分子レベルでは効果を予測できても、生体内でどう作用するかは未知であり、医学との協働が必要不可欠です」。

遺伝情報は読む時代から個体を作り出すことも可能な時代となり、正しく理解し活用するための環境構築が進められています。同時に遺伝子改変技術による治療法にさらなる期待が寄せられていることから、福田先生は今後、RNA情報の書き換え(RNA編集)技術を疾患治療に応用する創業ベンチャー企業を設立し、新たな核酸医薬品の開発を進める予定です。「理学・医学・薬学といった垣根を越えたライフサイエンスが一層注目される中、私たちはRNA編集のさらなる可能性を追求していきます」。

Focus / 10

# オンライン授業と著作権

法学部  
谷川 和幸 准教授  
TANIKAWA Kazuyuki  
研究テーマ  
著作権法、インターネット法、電子商取引法



2018年5月に著作権法が改正され、「授業目的の公衆送信補償金制度」が新設されました。一定の補償金を一般社団法人「授業目的の公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)」に支払えば、対面授業の同時中継ではないオ

「著作権法とは、小説や音楽、写真、美術などの作品を生み出した著作者の権利を守るための法律です」と、知的財産法を専門とする谷川和幸先生は説明します。著作物を他人が無断で複製したり公開したりすることは禁じられていますが、営利目的でない教育機関での利用は例外的に認められていました。具体的には、先生と学生の対面授業において、新聞記事や写真などのコピーを紙で配る場合や、授業の様子を離れた所に同時中継する場合などは、教材の著作権者への許可は不要でした。一方、授業を収録して配信するオンデマンド型の授業などは、先生が著作権者から個別に許諾を得る必要があります。手間を省くために授業のコンテンツを減らすといったことが問題となっていました。

## 教育機関が補償金を支払えば無許諾で著作物を利用可能に

## オンライン授業が広まり改正著作権法を前倒しで施行

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、日本でもインターネットを介したオンライン授業が急速に広まっています。本学においても、今年度の前期からオンライン授業が本格的に導入されています。そこで政府は、改正著作権法を前倒しで本年4月28日に施行しました。

「著作権法とは、小説や音楽、写真、美術などの作品を生み出した著作者の権利を守るための法律です」と、知的財産法を専門とする谷川和幸先生は説明します。著作物を他人が無断で複製したり公開したりすることは禁じられていますが、営利目的でない教育機関での利用は例外的に認められていました。具体的には、先生と学生の対面授業において、新聞記事や写真などのコピーを紙で配る場合や、授業の様子を離れた所に同時中継する場合などは、教材の著作権者への許可は不要でした。一方、授業を収録して配信するオンデマンド型の授業などは、先生が著作権者から個別に許諾を得る必要があります。手間を省くために授業のコンテンツを減らすといったことが問題となっていました。

「著作権法とは、小説や音楽、写真、美術などの作品を生み出した著作者の権利を守るための法律です」と、知的財産法を専門とする谷川和幸先生は説明します。著作物を他人が無断で複製したり公開したりすることは禁じられていますが、営利目的でない教育機関での利用は例外的に認められていました。具体的には、先生と学生の対面授業において、新聞記事や写真などのコピーを紙で配る場合や、授業の様子を離れた所に同時中継する場合などは、教材の著作権者への許可は不要でした。一方、授業を収録して配信するオンデマンド型の授業などは、先生が著作権者から個別に許諾を得る必要があります。手間を省くために授業のコンテンツを減らすといったことが問題となっていました。

来年度以降の補償金額については、現時点でまだ決まっています。著作権物の種類や利用回数にかかわらず、学生一人あたりの年額を設定する方向で検討されています。また、著作権者の利益を不当に害するような分量を使ってはいけないとされていますが、現場の先生に判断させることは困難でしょう。より具体的傾向も指摘します。「2年次生以降では「オンラインの方が先生の表情や黒板が見やすい」など良さを実感する声が上がっている一方、従来の授業を一度も経験していない1年次生では、対面授業を望む声が目立ちました。オンライン上では意思疎通が十分取れないことも、新入生にとっては不安要素だったようです。また、前期の対面による定期試験の中止に伴い、授業内で成績評価を行う必要も生じ、到達度を測るための課題や小テスト実施による負担も増えたと分析。そういった事への対策も今後考えていく必要があると話します。



鈴木先生(右)と紺田先生

Focus / 09

# 始まった遠隔授業

## これからの学び方

教育開発支援機構  
教育学修支援室  
鈴木 学 准教授  
SUZUKI Manabu  
教育開発支援機構  
教学IR室  
紺田 広明 講師  
KONDA Hiroaki

### 遠隔授業を実施してみた

#### 【学生の声】

##### メリット

- リアルタイム配信型は、大人数の対面講義に比べてチャットで質問やコメントがしやすい
- オンデマンド型は理解度に合わせて再生や巻き戻しでき、好きな時間に自分のペースで学べる
- パソコンを触る時間が増えてデジタルスキルが向上した

##### デメリット

- 自分の部屋など慣れた環境で受けられるので居心地がいい分、メリハリを付けにくい
- 通信環境が整っておらず、またツールの使用が初めてなので戸惑う
- 先生にメールで質問したいが、正式なメール作成の経験がなくハードルを感じてしまう

#### 【教員の声】

##### メリット

- 授業を録画共有したことで、授業時間内で理解が追いつかなかった学生の理解度向上に役立った
- 提出された課題の中には素晴らしい考察もあり、今後の授業方法の可能性が広がった
- 小テストをオンラインで行ったところ採点の負担が減った

##### デメリット

- 学生の表情や反応が読みづらい、理解してもらえているか手応えを感じづらい
- 理解度を把握したい時に行うミニテストが、対面ほど気軽にできない
- 実験や演習を伴う授業をどう進めたらいいかわからない

本学ではコロナ禍への対応として、今年度前期からウェビ会議システムによる「リアルタイム配信型」、動画配信で学ぶ「オンデマンド型」、そして「教材配信型」の3タイプの遠隔授業を実施しています。学生・教員双方の教育環境の向上を目的に、さまざまな取り組みを実施する教育開発支援機構の2人の先生に、これからの学び方について聞きました。鈴木学先生は、「今回はコロナ禍による急な導入でしたが、対面授業と遠隔授業の要素をブレンドすることで、学習効果は上がるというわれています」と話します。実験や演習、ゼミなど、対面ですること学びが深まる少人数の授業に対して、大人数への知識の伝達が主な目的になりやすい講義等は、むしろ遠隔授業に向いています。一律で遠隔授業を導入せざるを得なかった前期授業では、学生、教員共に戸惑いが見られたものの、今後の取り組みの足がかりとなりました。

「コロナの収束が見通せない中、後期以降も授業形態の模索は続きます。逆に言えば今こそ、従来のスタイルを検証し、遠隔授業も含めた今後の大学教育の在り方として新たに展開していくことが求められています。では、学生側にはどのような学び方が求められるのでしょうか。

## 受け身ではない大人の学び方の始まり

「大学生に求められる、学びに対する基本姿勢は変わりませんが、この現状は学びの目的や手法を自ら考える「大人の学び」へ進化させるきっかけになります。外から与えられる受け身の学びではなく、自分で動機付けをし、経験し、振り返りを行う「次に進む」というステップを意識して「みてくださ」と鈴木先生。遠隔授業では、自己管理が特に必要となり、各授業で出される課題などマルチタスクに対応する力も試されます。いわば社会人としての基礎を身に付けることができるとも言えるでしょう。紺田先生は、学生の声を伝えられる仕組みを前向きに活用してほしいと話します。「授業アンケート「FURUKA」でも良かった点や要望などがフィードバックされ、さまざまな声が大学の教育改善にもつながります。ぜひ遠隔授業を経験するなかでの気付きや課題を私たちに伝えてほしいと思います。」

### 教育開発支援機構ウェブサイト

教育開発支援機構ウェブサイトでは、「福大生のための学習ナビ」や授業アンケート「FURUKA」など、在学生の皆さんの学びを支援する情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



ウェブサイトはこちら▼

### 教育機関における著作物の使用について

#### 【従来】

- 教材として紙へのコピーでの配布  
学校内 OK
- オンラインでの授業の同時中継  
インターネット経由 OK

- オンデマンド型の遠隔授業  
インターネット経由 NG
- 予習・復習用の資料をサーバーにアップロードまたは学生・生徒にメールで配布  
インターネット経由 NG

2020年4月  
改正著作権法が施行

#### 【法律施行後】

- 教材として紙へのコピーでの配布  
学校内 OK
- オンラインでの授業の同時中継  
インターネット経由 OK

- オンデマンド型の遠隔授業  
インターネット経由 OK
- 予習・復習用の資料をサーバーにアップロードまたは学生・生徒にメールで配布  
インターネット経由 OK

的な運営指針が必要」と谷川先生。著作権者の権利を守りつつ、先生と学生双方にメリットの多いオンライン授業がより良い形で普及していくことを、多くの教育関係者と学生たちは望んでいます。



## これからのICT

工学部 電子情報工学科

上山 憲昭 教授

KAMIYAMA Noriaki

研究テーマ

コンテンツ配信技術、ネットワークセキュリティ、IoT、ネットワークサービスの制度・規制



オンライン授業でICT(情報通信技術)がぐっと身近になった学生は多いのではないだろうか。ICT分野を専門とする上山憲昭先生は、今回のコロナ禍で実際にウェブ会議システムを授業で使ってみて、多くの利点を感じている。

「授業を録画して共有したところ、何度も見返して理解が深まると好評でした。テストもオンラインで実施し、採点の負担が軽減。今後は小テストの回数を増やすなどして、よりきめ細かなフィードバックができそうです」

諸外国に比べて家庭へのパソコン普及率が低いのが、日本のオンライン授業の導入を妨げる一因でしたが、先生はコロナ禍がパソコン購入を促進したとみて、オンライン授業やオンラインテストの一般化を期待しています。

とはいえ実験や演習など対面が基本の授業も多く、キャンパスライフも学生にとって大切な時間です。「3密を避けるため、例えば教室の定員を半分にして対面授業を行いつつ、別の教室にライブ映像を流すなど、これまでとは違った視点で考え、教育の機会を提供するなどの工夫が必要です」と先生は提案します。

一方、医療現場に注目すると、すでにオンライン診療が進んでおり、今後はコロナ治療の最前線で、患者の重症度の早期判断などにもICTが活用できそうですと先生。例えば重症化の予測にAIによる遺伝子分析が有効となっても、その分析には特殊なコンピューター設備が必要で、病院内で行うのは難しいのです。そ

ここでリモートのデータセンターで計算や分析を行い、結果を病院に戻すという活用もできると思います」。

病院数や病床数の少ない地域の感染拡大も不安視される中、どんな場所にいる患者にも、より早期に対策を講じられるツールとしてICTの出番が増えそうです。

**東京一極集中や人手不足など社会問題の解決にも寄与**

教育、医療分野以外ではどのような展開が考えられるでしょうか。「VR(仮想現実)の職場で仕事をしようとする人たちが現れるかもしれません。ウェブ会議システムよりさらに現実世界に近くなりテレワークの普及が進むでしょう。場所にとられない働き方は、東京一極集中の問題も解消する可能性があります。分野によって産業の中心地が分散している欧米を参考にできるかもしれません」。

また、人手不足対策にも活用の見込みがあります。上山研究室では、養殖の妨げとなる赤潮発生を検知するため、いかだに設置したスマホなどの画像データを遠隔で解析する研究を始めた。このような長期間にわたる観測はICTが得意とする分野で、働き手の負担も軽減します。意識改革やリテラシー向上、法整備、セキュリティ強化…課題は多いとした上で、先生は力を込めて言います。

「オンラインを使う機会が増え、改めてICTが目玉されています。ネットワークを活用できる余地がありながら、まだ開拓できていない分野も多いので、私たちの研究を通じてその可能性を広げていきたいと思っています」



昨年のオープンキャンパスでICTに関するデモンストラレーションを展示した時の様子

データ収集と分析結果活用によるAI・IoT*サービスマッピング			
活用空間	サイバー空間		リアル空間
収集空間	EC ・最適提案(レコメンド、FAQ) ・不正出品物の検知	金融 ・質問回答 ・不正送金の検知 その他 ・翻訳 ・迷惑メールの判定 ・悪質案件の判定	金融 ・与信審査 観光 ・口コミ分析
サイバー空間	小売 ・注文対応	その他 ・指紋認証 ・デジタル化(手書き文字、音声)	IoT化の進展で効果の拡大が期待される
リアル空間	農業 ・農作物の生育状況管理 運輸 ・混雑予測 製造 ・不良品の検出	漁業 ・監視 医療 ・健康管理 介護 ・高齢者の見守り ・コミュニケーション 小売 ・需要予測 ・顧客属性推定 ・商品案内 インフラ ・設備稼働状況管理 保険 ・FAQ候補の提示	教育 ・英会話ロボット その他 ・音声翻訳 ・自動運転 ・娯楽ロボット

\*IoT: Internet of Thingsの略文字を取ったもので、スマートスピーカーをはじめ、エアコンやテレビ、照明など、あらゆるモノが、その利便性を高めるためにインターネットと接続されること。出典: 総務省「我が国のICTの現状に関する調査研究」(平成30年)

## ウィズコロナを機に

## 住環境を考える

工学部 建築学科

穴井 謙 教授

ANAI Ken

研究テーマ

音響、騒音、照明などを含む建築環境



### 住居の換気の方法

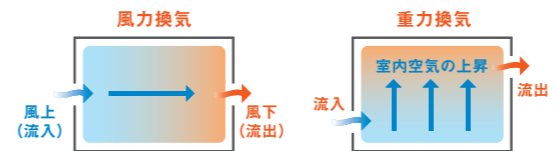
室内の人や家電から出る熱や蒸気などにより、密閉した室内の空気は次第に新鮮さを失ってしまいます。

### 生活によって汚染される空気



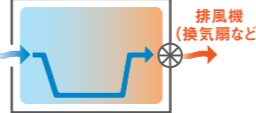
### 自然換気

空気の流れを作るように2カ所の窓を開けることで、外気と室内の空気の入れ換えを行います。



### 機械換気

風などの天候に関係なく換気するために、機械式のファンなどで強制的に空気を入れ換える方法もあります。



参考: YKK AP(株)HP「自然換気とは」

在宅時間が増え、住環境に目を向ける人が増えていると言われています。また長時間室内で過ごすことで、今までにないストレスを感じることもあります。建築学科で環境系分野に携わる穴井謙先生によると、住環境において人に影響を与えるのは、光、音、熱、そして空気と云います。

ウイルス感染という観点から最も気になるのは、空気でしょう。「2003年の建築基準法の改正から、新しい住宅には24時間換気システムの設置が義務付けられています。建材の化学物質などからさまざまな症状を引き起こすシックハウス症候群の対策として施行され、1時間で室内の半分の空気が入れ替わる換気の設計が求められています」。

さらに「ウイルスの感染防止には、厚生労働省からはこまめな換気が呼び掛けられており、1時間に2回以上、窓を開けて換気することを勧められています。開ける窓は2カ所、できるだけ離れた対面の窓を5分〜10分間程度は全開するのが望ましいでしょう」。

また、WHO(世界保健機関)の住宅と健康のガイドラインには、住宅内の寒暖差を減らす対策が重要とあります。特に呼吸器系、循環器系の疾患がある方は注意が必要です。「住宅の断熱性は非常に大切です。一重の窓ガラスからは室内の7割ほどの熱が逃げるため、二重窓や複層ガラスを勧められています。外からの騒音対策にも有効ですよ」と穴井先生は話します。

※ZEH(ゼッチ)は換気、断熱ともに対応しており、国も推奨しています。省エネルギー対策された住宅はさまざまな感染症対策にもつながると言えます。「人間がいる限り、熱を出し

たりホコリを出したりすることは避けられませんが、常に空気を汚染している状態が続くため、新鮮な酸素の供給は不可欠です。コロナ禍の現在、オフィスでも換気システムが見直されているところで、まさに今、空調システム業界に熱い視線が注がれています」。

**在宅によるストレスを環境改善のひとつ工夫で軽減**

オンライン授業やテレワークの導入で、通学・通勤の移動のストレスに代わり、外出自粛が新たなストレスになることが増えているようです。身体のリズムを整えるために朝は窓辺やベランダで意識的に太陽の光を浴びてください。人間の体内時計は朝、太陽の光を浴びてリセットされます。また室内で作業する際は照明の色「色温度」にも注目してほしいと先生。「白熱灯のように色温度が低い赤みがかつた光は、人に安心感を与え、逆に蛍光灯など色温度の高い青白い光は気分をシャキッとさせる効果があります。勉強とリラックスタイムで光を使い分けることもお勧めです」。

在宅ワークで作業効率を上げる際、静かな環境が不可欠という人も多いと思いますが、「集合住宅では完全な遮音は難しい」と言います。今までは耳にしなかった、昼間の音、特に家族向け物件では子どもの足音などが階下に響き、ストレス要因になることもあるようです。「個人でできる対策には限界があります。住人同士の気遣いと思いがちですが、そう欠かさない、私自身も実感しています」。

※ZEH(ゼッチ): Net Zero Energy Houseの略。太陽光発電や断熱など、使用エネルギーを削減しつ自家でまかなえる環境に優しい住宅。

Focus / 14

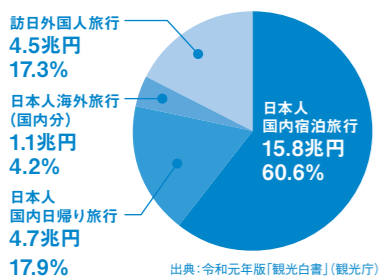
## コロナウイルスが九州経済へ与える影響

経済学部  
木下 敏之 教授  
KINOSHITA Toshiyuki  
研究テーマ  
九州経済論、起業戦略論

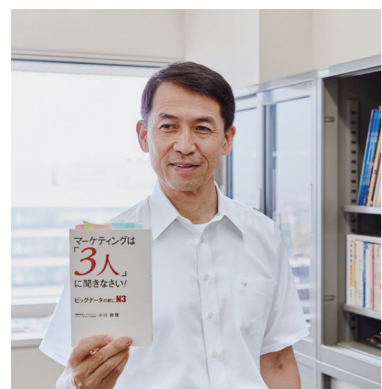
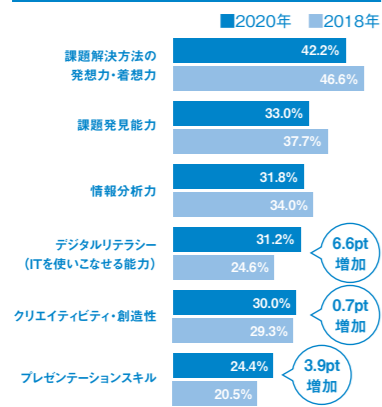


### 日本国内における旅行消費額

「観光業において、インバウンドの回復を待たず国内旅行だけでも回復できれば経済効果は大きい」と木下先生



### 新卒採用において以前よりも重要度が上がったと思うスキル



木下先生が学生にも薦めている本「マーケティングは3人に聞きなさい」

観光産業の割合が高い九州。近年ではアジア圏からの観光客の増加により、インバウンドの恩恵も大きく受けていました。しかし、渡航を含む世界的な外出自粛要請が、旅行業や航空をはじめとする運輸業の経営を圧迫。「経済的な影響は、恐らくこの先2〜3年続くのではないだろうか」と木下敏之先生は話します。また飲食業や小売業の比率が高い福岡市などは、需要縮小の影響が多大です。廃業に追い込まれたり、採用を控える企業も多く、大手外食チェーンや金融機関など身近な企業でも店舗の縮小化が進んでいます。

木下先生は「コロナ禍が新たな価値観を持ってきたというより、水面下で進んでいた動きを急加速させた」と捉えています。企業の規模縮小もその一つですが、一方で注目すべきはオンライン整備の加速です。もともとデジタル化が進むと人が余ると言われてきましたが、コロナ禍はそれを一気に現実のもの

### 企業の廃業・規模縮小に伴い、産業間の人材大移動が起きる

この状況を利用してどう行動を起こせるか

「コロナの収束後、少なくとも国内旅行の需要は一度爆発的に戻るでしょう。インバウンドも復活すると思いますが、その際は富裕層の取り込みがポイントです。従来の観光に加え、彼らが求めるスポーツやアクティビティの部分で、九州内の開発を進めるべきです」と木下先生。

さらに九州が持つ資源で価値を上げられると注目するのが、農水産物です。農業の使用を抑えた安全でおいしい日本産食材への評価は世界的に高く、生産者の高齢化に伴う

出荷量の低下も、待たなしの課題として対策が急がれます。

また、これまで福岡市では、ホール等を使った企業や業界の展示会も数多く誘致してきました。これらも恐らくオンライン技術が導入され、よりリアルで満足度の高い再現のために、AR (Augmented Reality: 拡張現実) の活用が進み、そこに新たな職業が出現する可能性も先生は予想しています。

学生の皆さんには「業種にこだわらず、職業選択の幅を広げることを勧めます。今後あらゆる場でデジタル環境の推進が求められるので、文系理系関係なくプログラミング技術等に精通したデジタルに強い人材が求められるでしょう。またコロナ禍で感じている困り事をビジネスチャンスと捉え、社会に思考を巡らせることも訓練になると助言します。この際、コロナを利用しましょう。悪い方ばかりに目を向けると動きが止まってしまう。変えられないものに文句を言うより、この状況でどう行動するかを考える。人はおのずと目を向けた方向に進んでいくものですから」。

Focus / 13

## コロナ禍を乗り切る銀行の打つ手は?

経済学部  
有岡 律子 教授  
ARIOKA Ritsuko  
研究テーマ  
銀行論、地域金融、会計制度



### 企業の救済を後押しして矢継ぎ早の政策

新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させました。2月以降、日本でも感染拡大の懸念が高まり始めると、外出や営業の自粛、移動制限に伴う外国人旅行者激減によるインバウンド需要の減少等により、交通系や飲食・宿泊等の業種での売上の落ち込みが目立つようになり、輸出が多い自動車業界をはじめ、関連産業等への打撃も非常に大きくなっています。多くの企業の資金繰りが逼迫してきているなか、政府や日本銀行は倒産が続出してしまおう事態を回避しようと、次々と政策を打ち出しました。政府による緊急支援や補正予算の編成、日本銀行による金融緩和の強化、新たな資金供給手段の導入等です。また金融庁も資金繰り支援の姿勢を強め、銀行、信用金庫等の預金取扱機関にその旨を要請しました。「政府や日銀等が規模の大きな政策を迅速かつ矢継ぎ早に講じたことで、政府系や民間の金融機関の貸出が後押しされ、市場に安心感を持たせ、3月下旬まで下落傾向にあった日経平均株価はその後回復していった」と有岡律子先生は話します。

実際に民間金融機関の貸出額に注目すると、2月からの半年間で約30兆円増加(日本銀行貸出・預金動向(速報)より)。「保証承諾」(中小企業等が金融機関から借入する際、信用保証協会に保証を申し込み、承諾されること)の6月の実績金額は、2月に比べて約10倍に伸びています。これは、返済に滞りが生じた場合、企業に代わって信用保証協会が弁済するもので、金

融機関にとっては貸倒れ時の負担が抑えられます。政府が保証の後押しし、企業が支払う保証料の減免、金融機関への支払利子補給等の支援を行うことで、企業は実質無利子、無担保の融資を受けられることになりました。あわせて、金融機関は取引先の返済条件緩和等も行っていきます。「貸出件数や金額の大きさから、資金を必要とする多くの声に、国や金融機関が何とか応えようとした姿が見えてきます。ただ、これまでは資金繰り支援が中心でしたが、今後は貸出先の経営状況改善、財務体質強化への支援が必要です。貸出の不良化による金融機関の業況悪化も防がなければなりません」と先生は指摘します。

金融機関はコロナ禍以前から、少子高齢化による顧客減少などの未来を見据え、生き残りをはかっていた戦略に注力してきました。例えば、地場産業など融資先企業の業種や規模構成、営業地盤に業績が左右されやすい地域金融機関は、独自の工夫に加えて、合併や他行と強みを生かしながら経営統合、業務提携等を進めてきました。また、店舗整理(廃止・統合・新規出店)も進めています。近年は店舗を利用しないネット取引が増加する一方で、今般のコロナ支援相談のための来店者は多数あり、店舗の大切さも認識されました。「店舗は預金集めの場という要素は、以前よりも弱くなってきたかと思えます。集めた預金を貸出等で運用しても利ざやばはさほど稼げなくなりました。顧客ニーズなどの情報収集場所、対面ならではの相談の場所としての役割が大きくなるのではないのでしょうか。」

### これからの銀行の在り方を見つめ直す契機に

	件数(件)	前年同月比	金額(百万円)	前年同月比
2020年2月	45,875	96.8%	586,572	97.5%
3月	101,334	158.9%	1,719,678	203.7%
4月	132,576	305.3%	2,654,871	533.5%
5月	234,742	512.3%	4,488,823	807.0%
6月	319,527	579.9%	5,841,691	826.4%
7月	264,604	465.4%	4,956,162	684.2%

出典：一般社団法人 全国信用保証協会連合会

金融機関からの貸出件数・金額ともに6月がピーク

特に地域経済の中心的役割を担う地域金融機関は「企業だけでなく地域全体の発展にどう貢献できるのか考えることが重要です。さらに、コロナ禍で層、デジタル化への対応も急務となりました。接触を避けながらも顧客サービスできる工夫が求められます。また、デジタル化推進のメリットについて、「例えば日常の定型業務を人工知能(AI)で代替することにより、相談にのる、提案力を養うなどに注力することができると有岡先生。銀行再編やデジタル化の進む未来が求められるのは、AIでの代替が効かない人の力です。」

先生は「これからの銀行には、どんな企業にどんな支援が必要かを判断できる目利き力、先行きとタイミングを捉えた提案力のある人材が望まれるでしょう。これまで以上に個人、企業、地域と共に成長していくことが、銀行の目指すべき在り方ではないでしょうか」と今後の展望に関する見解を述べています。

Focus / 16

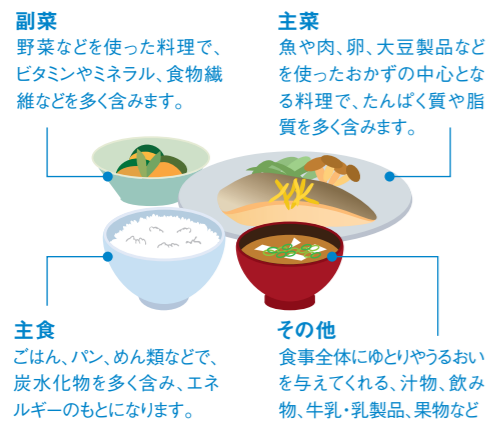
## 病気に負けない食生活

～免疫力を高めるために～

福岡大学病院 栄養部  
技師長(管理栄養士)  
倉橋 操さん  
KURAHASHI Misao

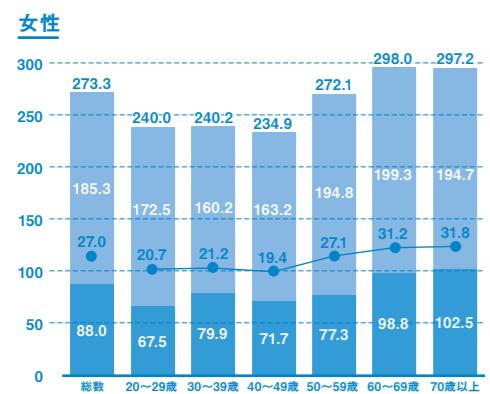
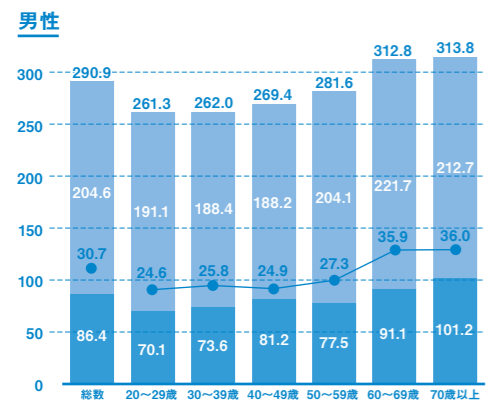


### 1食単位の料理の組み合わせ「主食・主菜・副菜」



### 野菜摂取量の平均値(20歳以上、性・年齢階級別)

単位:(g/日) ■緑黄色野菜 ■その他の野菜類 ●野菜の摂取量が350g以上の者の割合(%)



参考:厚生労働省「平成30年国民健康・栄養調査結果の概要」

**家で過ごす時間を使って自分の食事を見直す**

外出の自粛や「3密」の回避が求められる中、コロナ禍において、おのずと食生活も影響を受けているのではないだろうか。自炊をしない人にとっては、コンビニ弁当やレトルト食品ばかりで栄養が偏ってしまったり、これまで外食が多かった人が自炊に目覚めたり。このような時こそ日々の食事について考えてみてほしいという福岡大学病院栄養部の倉橋操さんに、食生活のポイントについて聞いてみました。

「基本は、栄養素を過不足なく摂ることが大事。一回の食事で主食・主菜・副菜を偏りなく食べたいものです。難しく考えず、コンビニでサラダ一品を追加する、デザートにヨーグルトを選んでもいいといったひと工夫でも構いません。スーパーで買い物する際も少し視点を変えて、カット野菜や果物、乳製品を買って

**食物繊維を意識して免疫力を高める**

自粛生活を送る中で、栄養の偏りのほか、肥満や便秘に悩んでいるという声も聞かれます。「つい食べ過ぎてしまう方は順番を変えてみるのもお勧めです。野菜などの副菜を最

おきして食事にプラスすることで栄養バランスが良くなります」

管理栄養士として日頃から入院患者さんの献立を考えた時、食事指導に当たる倉橋さんは、食欲を満たすために食べるのではなく、体をつくるために考えて食べることを意識してほしいともアドバイスします。「若い頃は食べ物と自分の健康が直結しにくいですが、食事は毎日のことなので食べ物によって体に影響を与えます。年を重ねてから生活習慣病などという形で現れてくるので、ぜひ今のうちから食について考えてみてはいかがでしょうか」。

最初に、続いてメインの主菜を摂り、主食の炭水化物を最後にすることで食物繊維が消化吸収を緩やかにし、血糖値の急上昇も防いでくれます。逆に、空腹時に炭水化物から食べると血糖値が急上昇しやすく、糖を脂肪として蓄えてしまいがちです。

また野菜や果物に多く含まれる食物繊維は、よく噛むことで早めに満腹感を与えてくれたり、腸内環境を整えてくれたりと、多くの利点を持っています。中でも今注目したいのは、腸内の善玉菌が好むエサが食物繊維であるという点。「腸の状態は免疫機能と関係しています。腸内の善玉菌が活発に働くためのエサをきちんと摂ることで、腸内が健康になり免疫力が高まると言われています」と倉橋さん。ウィズコロナの今、もしウイルスに感染したとしても自己免疫で回復できるような、食物繊維をはじめ、毎日の食生活に気を配って備えておきたいものです。

Focus / 15

## 現場の薬剤師が見た

## 新型コロナウイルス感染症

薬学部  
江川 孝 教授  
EGAWA Takashi  
研究テーマ  
災害医療、災害薬事



1 すべての乗客が下船を終えた船内にて 2 災害派遣医療チームの本部の様子 3 防護服を着用し乗客の対応にあたった 4 船内で活動する薬剤師メンバー(写真提供:江川先生)

**「ダイヤモンド・プリンセス号」で医療チームの一員として活動**

現在、世界各国で新型コロナウイルスの治療薬やワクチンの開発が急ピッチで進められています。「日本では7月末現在、治療に有効性が確認された薬はレムデシビルとデキサメタソンの2例のみで、特効薬として期待されたアビガンはまだ明確な有効性が示されていません」と説明するのは、薬学部の江川孝先生です。

江川先生は2011年の東日本大震災で、被災地では、薬剤師が不足していると聞いたことをきっかけに災害医療の道へ。以来、ネパール大地震、熊本地震、九州北部豪雨災害など、毎年さまざまな被災地で活動しています。これらの経験から、大型客船「ダイヤモンド・プリンセス号」で新型コロナウイルスの集団感染が起きた2月には、厚生労働省の要請を受け、DMAT(災害派遣医療チーム)の一員として同行。船内に設けられた仮設調剤所で薬

の調剤や相談に応じたほか、本部運営やチーム管理、陽性者の搬送まで担当しました。「現場は緊張感に包まれ、あらゆる分野のプロフェッショナルが働いていました。私は2週間滞在し、幅広い業務に携わりました。薬剤師として、持病等の薬を必要とする乗客や乗組員の処方薬を調べて、日本国内で出せる薬に置き換えたり、体調に応じた薬を用意したりしました。その傍ら、自分の研究室の学生たちに対しては、船内から遠隔で、海外の薬について説明したり、感染者に関する統計や分析を指示したりと、リアルな教育研究指導を行ってきたそうです。

**市販薬の相談は薬剤師に、感染予防の基本は手洗いと適切な消毒**

4月になると福岡県内でも感染者が増え、県は各地で宿泊療養用のホテル借り上げを実施。江川先生は薬剤師として初めて県の「災害医療コーディネーター」に任命され、組

織づくりから薬のアドバイスまで、多様な役割を担いました。「ホテルで療養しているのは軽症者や無症状者です。医療機関ではないので処方箋医薬品は出すことができません、発熱や頭痛、不眠、便秘など一人一人の症状に合った市販薬を選別して提供していただきました」。

いち早く現場で対応されてきた江川先生に、薬に関して私たちが気を付けるべき点を伺いました。

「風邪かなと思った場合でも症状を抑え込もうと、だからだと市販の風邪薬を飲み続けるのではなく、医療機関を受診することも大切です。新型コロナウイルス感染症の判別が遅れてしまう可能性があるからです。また、受診できない場合でも薬局で薬を購入するときは、まず薬剤師に相談することをお勧めします。市販薬にも多くの種類があり、それぞれ成分や用法が違います。そして、手洗いや消毒薬の適切な使用など感染の入口となる部分の対策が必要です」

Focus / 18

## 国交と貿易情勢は コロナ後にどうなるのか？

商学部  
岡 陽子 准教授  
OKA Yoko  
研究テーマ  
組織論、リーダーシップ論、貿易商務論



「日本に生産拠点を戻すと言っても、これだけ自然災害の発生する国では、国内回帰がサプライチェーン確保へのリスクヘッジにはなり得ないでしょう。また、これまで進めてきたグローバル化は、単に低賃金労働力の確保やコスト削減のためという認識であり、企業もそのような戦略でグローバル化を進めてきたのです。しかし、そもそも自由貿易は、第二次世界大戦という悲惨な経験の反省から、国同士があえて依存しあう関係をつくることで戦争を回避しようと考えたことが始まりです。その理念を受けて、1995年には世界貿易機関(WTO)も設立されました。世界平和の構築という本来の目的を忘れてはいけません。それは戦争を知らない世代には建前に聞こえても、当時戦争を体験したリーダーたちにとっては最善の策だったのでしょ。実際に、それぞれの理念や主

### 貿易のグローバル化の原点 世界平和を忘れてはいけない

全世界を襲ったパンデミックは、国交と貿易にも多大な影響を及ぼしています。ウイルスの猛威を抑えるべく国境を封鎖、各国国内で政策が進められることになったのは、奇しくも世界において強権政府の台頭や自国第一主義を唱えるリーダーの存在、ナショナリズムへ傾倒する国が目立ってきたタイミングとも重なりました。日本においてはサプライチェーンの機能低下でマスク不足が取り沙汰され、他国への生産依存が問題化、国内に生産拠点を戻すべきといった声も大きくなりました。しかし岡陽子先生は、国内回帰という結論に安易に飛びつくのは危険と指摘します。

- 発展的な多角的貿易体制を構築する「WTO(世界貿易機関)」の特徴
- 国際機関としての地位
    - 協定上明確な設置根拠を持つ貿易に関する正式な国際機関として設立
  - 貿易ルールの強化
    - 特定の物品(農業、繊維)の貿易に関する協定を作成
    - アンチ・ダンピングやセーフガード等の貿易ルールを拡充
  - 新しい分野のルール策定
    - 物品貿易に加え、サービス貿易、貿易関連の知的所有権や投資措置など、より広範な分野を網羅

「自国の利益ばかりに目を向けていても、すぐに立ち行かなくなります。これまで以上に各国が協調していかなければいけませんし、そうせざるを得ない状況なのです」

自分の頭で考え  
危機を乗り越える力を磨いて

円滑な国交や貿易を推し進める上でも、目のことだけでなく100年先などの長期スパンで政策を練ることが、政府の重要な役割。先生は各国のリーダーの発言や戦略、それを受けた国民の判断を注意深く見ているそうです。「自国の立ち位置を把握している国には哲学があり、判断も大きくぶれません」。

こうした客観的、長期的思考は、日本に住む私たち一人一人にも必要とされるものです。

- 紛争解決手続の強化
    - ネガティブ・コンセンサス方式(全会一致で反対しない限り決定・採択される)の導入
    - WTOの紛争解決手続によらない一方的措置発動の禁止
    - 手続の迅速化・円滑化のための実効性強化
    - パネル(小委員会)報告の法解釈について再審査を行う常設の上級委員会を設置
  - 加盟国の権利義務
    - 物品貿易、サービス貿易、紛争解決等のWTO諸協定を一括受諾の対象とし、統一的な運用を確保
- 経済産業省「通商白書2019」より引用



授業では、貿易に欠かせないコンテナに関する書籍などを使用

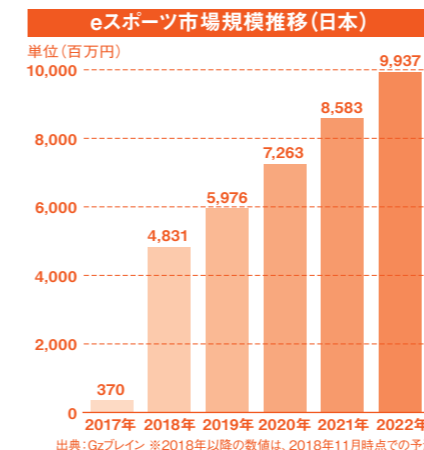
「人はどうしてもマジョリティーの意見に追随する傾向が強く、先ほどのマスクの例のように一つの意見に皆が一斉に飛びつき、安易に結論を下してしまいがちなのは少し怖いところ。自分の頭で考えることを大切にしなければなりません。そのためには、本物の情報を知識として蓄えることが大切になります。」

今後、私たちの周りにはさまざまな危機が訪れるとした上で、岡先生は続けます。「学生には、いつ何時このような危機が訪れても自分なりに考え判断できる知恵を持つてほしい。そのために本当に必要な知識は、決してネットやSNSでは手に入らないということも認識してもらいたいと思います。危機に直面した時、何の努力も無しに、しかも無料で誰でも手に入る情報だけで乗り越えられるほど、安穏な世界ではなくなりつつあります。そして今後さらに進むグローバル社会を、強く生き抜いてほしいと思います。」

Focus / 17

## ステイホームで変わった? eスポーツとゲーム産業

商学部  
森田 泰暢 准教授  
MORITA Yasunobu  
研究テーマ  
組織間連携、ゲーム開発マネジメント、市民科学



「自国の利益ばかりに目を向けていても、すぐに立ち行かなくなります。これまで以上に各国が協調していかなければいけませんし、そうせざるを得ない状況なのです」

自分の頭で考え  
危機を乗り越える力を磨いて

円滑な国交や貿易を推し進める上でも、目のことだけでなく100年先などの長期スパンで政策を練ることが、政府の重要な役割。先生は各国のリーダーの発言や戦略、それを受けた国民の判断を注意深く見ているそうです。「自国の立ち位置を把握している国には哲学があり、判断も大きくぶれません」。

こうした客観的、長期的思考は、日本に住む私たち一人一人にも必要とされるものです。

「あつまれどうぶつ森」が売り上げを伸ばしたことを挙げます。「自粛で退屈な日常とは対照的に、画面の中には日々変化があり、SNS上で交流も生まれる。そうした感覚が人々に歓迎されたのだと思います」。

同時に、全世界に競技人口を広げているeスポーツ(対戦型コンピュータゲームをスポーツ競技と捉えるもので、オリンピックの正式種目採用も目される、今、最もホットな分野)も、一般のスポーツ観戦がでなくなったことさらに広がるかと思われました。しかし、こちらは予想されたほどの盛り上がりはなかったそう

### 自粛生活で求められた 変化がある「ゲームの需要

コロナ禍で外出自粛が求められる今、家庭で楽しめる娯楽としてコンピュータやスマホでゲームをする人が増えています。本学「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」でも活動を行い、ゲーム開発マネジメントを研究する森田泰暢先生は、この期間にゲーム業界で起きた注目すべき点として、任天堂のゲームソフト『あつまれどうぶつ森』が売り上げを伸ばしたことを挙げます。「自粛で退屈な日常とは対照的に、画面の中には日々変化があり、SNS上で交流も生まれる。そうした感覚が人々に歓迎されたのだと思います」。

### 視聴体験を強化すれば ゲーム産業の裾野が広がる

ステイホーム期間は、仕事などを理由にゲームから遠ざかっていた人が戻るきっかけになった一方、そもそも全くゲームに興味のない「ノンプレイヤー」と言われる人たちまでは動かさなかったと森田先生。「このノンプレイヤーの取り込みが、今後の業界の課題とされています」。

そんな中でヒントになるのは、自ら実況しながらゲームをし、中継するプレイヤー(ストリーマー)の存在です。人気ストリーマーはオンラインのみならず、オフライン、つまり実際の会場に観客を入れたライブも開催します。すると目の前で繰り広げられる臨場感を楽しみに、自分ではゲームをしない人も含め多くのファンが訪れます。この状況はeスポーツでもつくれるのですが、eスポーツは初心者にもルールが分かりにくいという難点があります。しかし森田先生によると、eスポーツこそノンプレイヤーを取り込む最適な入り口のこと。そのため、まずはルールが分からなくても流れが把握できるようにチャンスシーンを演出したり、応援チャットを積極的に活用したりと、ゲームをしない人も一緒に画面上で楽しめる、eスポーツ観戦環境を整える工夫が必要だと言います。



冒険ものから格闘ものまでeスポーツの種類はさまざま



eスポーツや市民科学に関連した書籍

「高い身体能力が無くてもスタープレイヤーを目指せますし、老若男女問わず人々が最もフエアに戦えるのがeスポーツです。観客、プレイヤー双方から参加人口を増やしていくことは社会的意義もあるでしょう」。コロナ状況下でゲーム産業の裾野は、大きく広がろうとしています。

それらが定着すれば、ゆくゆくはオフラインでも一人一台スマホやタブレットを用意した参加型観戦など、幅広い展開も期待できそうです。

Focus / 20

# 運動不足解消のために 効果的なエクササイズを

スポーツ科学部  
柿本 真弓 教授  
KAKIMOTO Mayumi  
研究テーマ  
「動き」の研究、新体操、高齢者の体操など



自粛期間に運動不足を感じた人も多かったのではないだろうか。運動不足が続くと太りやすくなるだけでなく、体の機能が低下します。さらに食欲の低下や免疫力の低下に加え、心にも影響が出て憂鬱な気分になるなど、さまざまな症状が現れます。心も体も快適な状態を維持するには運動を日常的に続ける必要があります。スポーツ科学部で「体づくり運動」を指導する柿本真弓先生も「日頃の積み重ねが大事」と言います。体操・新体操の研究などから「動き」の質を追究する柿本先生。今年3月には母校中の子どもたち向けに、地元のテレビ番組で、背骨の動きを良くするワカメ体操、股関節の動きを良くする力士体操などを紹介しました。またオンライン授業では「柿本流ストレッチ」をはじめ、さまざまなエクササイズを配信しました。すると家族と暮らす学生からは「おばあちゃんと一緒にやった」、一人暮らしの学生からは「恥ずかしがらずに真剣にやってみると、体のゆがみに気が付いた」などポジティブなコメントが寄せられたそうです。「正しい姿勢を意識してストレッチを行うことで、動きの質が良くなり、体の機能改善につながります。さらに、アスリートの学生には、専門種目の競技力向上につなげてほしいです」と話します。

最後に、普段から意識して動かし「脊柱」「肩甲骨」「骨盤帯」の簡単なストレッチを教えてくださいました。正しく動かすことで、四肢の痛みが軽減することもあるそうです。ぜひ試してみてください。

正しい姿勢を意識してストレッチを習慣化すると、動きの質が良くなり体の機能改善につながる

Focus / 19

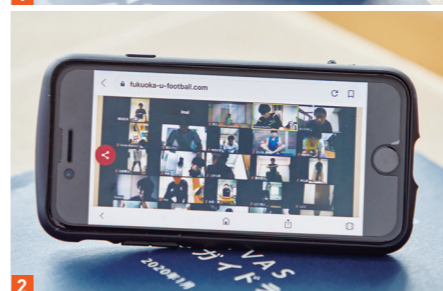
# #スポーツを止めるな2020 ユニバス UNIVASと福大の取り組み

スポーツ科学部  
乾 眞寛 教授  
INUI Masahiro  
研究テーマ  
サッカー競技・コーチ学



UNIVAS 特設サイト「#スポーツを止めるな2020」

## 福岡大学サッカー部の取り組み



1 サッカー部OBの元日本代表・坪井慶介選手をはじめ、多くの現役Jリーガーに登場いただいたリレー筋トレ 2 ZOOMを使い、オンライン上で合同トレーニングを実施

「スポーツのある日常」が消えた喪失感 SNS発信が空気を変えた  
2019年3月に「大学スポーツ協会(UNIVAS)」が発足し、まさにこれから大学スポーツを盛り上げようという機運が高まっていた矢先のコロナ禍。「春のシーズン入りのタイミングで次々と大会が中止になり、合宿や遠征、練習も休止に追い込まれました。UNIVASで設立準備段階から指導者研修制度の整備に携わり、本学サッカー部(男子)で長年監督を務める乾眞寛先生は振り返ります。  
「当たり前」にスポーツのある日常と、試合という努力目標が突如消えてしまった。選手の喪失感、それは大きなものでした。  
そんな中、SNS上で「#スポーツを止めるな2020」というムーブメントが起こります。大会中止により、自分の進路に関わる実力披露の場を失った高校生アスリートが、自身のプレー動画を投稿。周りが拡散して応援しようという動きでしたが、次第に高校生だけでなく、「スポーツ

を続けたい」幅広い世代の選手に広がっていきました。想いに賛同したUNIVASは6月、特設サイトを開設。個々の発信の受け皿としてプレー動画を一つにまとめるサイトを作成しました。「単独種目だけでなく、複数の種目に広がったことで大きな力になっていきました」と先生も注目します。  
もう一度、自分たちのスポーツを動かしましょう  
「#スポーツを止めるな2020」は、多くの選手が再び歩みを進める契機となりました。サッカー部では自粛期間中、部員たち自身による企画運営で、OBである日本を代表する一流選手に協力を呼び掛けオンライン筋トレを実施。平時であれば実現が難しいプロとのオンラインでの合同練習にモチベーションを高めました。また週1〜2回、4年次生を進行役にオンラインで学年横断型の小グループミーティングを実施。部のスローガン「輪 CONNNECT」

を掲げ、互いの強みや弱みなどを共有し、向上心を高めて結束を強くしました。  
活動は部内の枠に留まりません。「一般の方に元気を届けたい」と、ヨガインストラクターの資格を持つ部員が講師となり、サッカー部の公式SNSのフォローに向けてヨガレッスンを企画。多い時は100人以上が同時参加しました。これが縁となり、再開後、サッカー場に応援に来てもらうきっかけになればとの期待も込めて活動し、反響を呼びました。  
「普段なら試合の成果から充実感や達成感を味わい、選手は成長していきます。では大会がなければ大学スポーツは何もできないのか」。乾先生はこの問い掛けにNOと答えます。そしてコロナ禍が競技に与えた負の影響の大きさを認めながらも、失ったものだけではないと強調します。  
「困難は皆同じですが、それをどう受け止め、乗り越えたかで成果は変わってきます。個々の自律心や発信力、連帯感。この状況下でこそ培ったものを、活動再開のさらなるプラスエネルギーに変えていければ」と力を込めます。



SNSで一般参加者も募ったオンラインヨガレッスン

リレー筋トレの動画はこちらから



### 先生が30年以上毎日続けている柿本流ストレッチ

授業以外に、学内のエクステンションセンターや市内の高齢者施設などでも体操指導をしている柿本先生に、誰でも気軽に自宅で取り組めるストレッチを教えてくださいました。

#### 肩甲骨のストレッチ その1

POINT 上体が歪まないように

左肩、右肩ともに前へ4回、後ろへ4回回ります。

#### 肩甲骨のストレッチ その2

POINT 閉じたときに肘の高さは変えない

肘を肩の高さ上げて、両方開いた状態から開閉動作を計10回行います。

#### 肩甲骨のストレッチ その3

POINT 背骨をまっすぐにし、上体がぶれないように

肩甲骨を意識して左肩、右肩を交互に2秒ずつ上げ下げします。

#### 腸腰筋のストレッチ

POINT 股関節の幅に足を開く

POINT 骨盤の後傾

POINT 骨盤の前傾

骨盤を安定させる腸腰筋を緊張させたり緩めたりします。

#### 骨盤の歪み調整ストレッチ

POINT 肩のラインは床と水平、背骨もまっすぐに

片方のお尻に体重移動させて骨盤の歪みを調整するイメージ。交互に2〜3秒ずつ、4〜5回行います。

運動不足解消に

# 時代を駆ける先輩たち



九州電力キューデンヴォルテクス(ラグビー)  
ヘッドアナリスト

戸田 尊さん  
とだ・たかし

2006年3月、福岡大学スポーツ科学部スポーツ科学科卒業。2010年3月、福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程前期を修了。2011年、福岡大学スポーツ科学部助教。2013年からNTTDコモレッドハリケーンズのアナリストとなり、2017年から日本代表スーパーラグビーの日本チーム・サンウルブズのアナリストを務める。2020年6月から現職。

## 二つの夢を追いかけて W杯日本代表のアナリストに

全てのこと丁寧に取り組み  
人として成長できた大学生活

よく晴れた平日の夕方、グラウンドで熱いプレーを繰り広げる選手たちを、ひとときわ冷静に見つめる男性がいました。社会人ラグビーの「九州電力キューデンヴォルテクス」で、ヘッドアナリストを務める戸田尊さんです。ラグビーのアナリストは、選手が付けているGPSやドローンで撮影した映像などのデータをもとに、チームの戦力を分析したり、試合前には対戦相手に応じた戦略を練るなどして、チームを勝利に導く重要な役割を担います。昨秋、日本中を熱狂させたラグビーワールドカップ2019。戸田さんは日本代表チームのアナリストとして、あの快進撃を支えた陰の立役者です。

戸田さんがラグビーに出会ったのは中学1年生の時。部活動でラグビーの面白さに目覚め、「将来は教員になり、ラグビーを指導したい」と思うようになりました。そこで、「地元福岡で九州の大学スポーツをけん引している」福岡大学スポーツ科学部に進学。ラグビー部に入り、3、4年次には全国大会にも出場しました。

「大学時代は、全てにおいて目の前のことを一つ一つ丁寧に行うように心掛けました。一流

のラグビー選手は、特別な能力があつて派手なプレーをするというより、当たり前のことを丁寧に行う能力に長けていて、プレッシャーの中でも正しい判断ができる気が付いたからです。私自身、1年次はケガで思うように練習できませんでしたが、だからこそラグビーを客観的に見て、そのような気付きを得ることができたのだと思います」

何事にもしっかり取り組む姿勢は、学業でも貫いたと言います。「スポーツ科学部の授業はどれも興味深く、特にスポーツ生理学やスポーツバイオメカニクスの授業は本当に楽しかったです。単に知識を身に付けるだけでなく、ラグビーに置き換えて物事を考えることで、自分のパフォーマンスやコーチングにつなげようという強いモチベーションもありました」。学びをさらに深めるべく本学大学院へ進学。現・副学長の田中守教授の研究室でスポーツ生理学の観点からラグビー競技を探究しつつ、コーチングを通じた指導を実践し、カナダへの留学も経験しました。

学生生活を通じて、何事もポジティブに捉えられるようになったという戸田さん。「勝った試合より負けた試合から学ぶことが多く、成果に至る全てのプロセスが人を成長させてく

チームの強化に貢献していました。

そんな中、思ってもみないチャンスが訪れます。2017年の夏、ラグビー日本代表のヘッドコーチに就いたジェイミー・ジョセフ氏がクラブハウスに来て、部屋に呼ばれた戸田さん。「次の試合に向けた相手分析の資料を見せてくれ」と言われ、急にプレゼンすることに。そして「うちに来てほしい」と誘われたのです。実はレッドハリケーンズのコーチが、戸田さんをジェイミー氏に推薦してくれていたのです。「とんでもなくすごいところに足を踏み入れることになったと身が引き締まる思いがしました。大変光栄な、またとないチャンス。全力を尽くしてやろうと決意しました」。

まずはスーパーラグビーに参加する日本チーム・サンウルブズへのヘッドアナリストとして、世界中の試合に同行。「アナリストが3人いるのに、仕事を抱え込み過ぎてパニックしてしまい、マネジメントも覚えなさいとジェイミー氏に叱られたことも。最終的にはいい形でワールドカップに入りました。そして、ワールドカップ2019で日本代表は「One Team」を掲げ、見事にベスト8入りを果たしました。

「期間中に一度だけ泣きました」と戸田さんは打ち明けます。それは静岡での対アイルランド戦。「僕は試合中いつもヘッドコーチの後ろに座り、無感情でデータを打ち込む作業に没頭するのですが、アイルランド戦終了後、僕が夢見ていたような光景が目の前に広がっていました。チームが会場に流れる中、観客の皆さんが歓喜に満ちた表情で涙を流していて、ものすごくうれしく、いろいろな思いが込み上げてきて、涙があふれました」。

### 地元の福岡に貢献しつつ 日本のラグビー界を盛り上げたい

2020年6月、九州電力キューデンヴォルテクスのヘッドアナリストに就任。幾つものオファーがある中での選択でした。「福大を離れる時、自分をアップデートして、いつか地元へ貢献しよう」と心に誓っていました。チームが目指す姿に近づけるように全力でサポートしたいと思えます。一方で、2023年ワールドカップに向けたプロジェクトも動き始めています。自分が経験したことを後進につなげて、ラグビー界を盛り上げていきたいです」。

最後に、福岡大学の皆さんにこんなメッセージを送っていただきました。

「今この瞬間を思いっきり楽しませよう。新しい発見をして、その日その時をいかに面白くできるかは自分次第。どんな時も自分ができることに集中することで、未来は明るくなると思います」



「3歳の息子もラグビーが好きなのですが、親としてはうれしい反面少し心配で」



大学時代の戸田さん(1列目右から2人目)



ドローンを活用して選手の動きを確認



W杯期間中にスタッフと

れると実感できたのは大きな収穫でした。それまでの自分は失敗を恐れて挑戦しないこともありましたが、挑戦しないことが一番の失敗だと思ひ、一歩踏み出す勇氣を持てるようになり「将来は「指導者になりたい」「スポーツで世界に羽ばたきたい」という二つの夢があり、あえて一つに絞らず、その時自分にできることに集中したそうです。「振り返ってみると、決断を急ぎ過ぎなかったことで今の自分があると思います」と話します。

**アナリストとして歩み出し  
W杯という夢の大舞台で活躍**

スポーツ健康科学研究科の博士課程前期を修了後、2011年に本学スポーツ科学部の助教に着任。ラグビー部でコーチングをする際、GPSを導入し、スタツツプレーの状況を数字で表したもの(など)各種データを分析しました。ちょうど日本のラグビー界で「アナリスト」というポジションが広まり始めたころです。「選手に何かを伝える際、主観的に経験や考えを話してもなかなか行動が変わらず、もどかしく思うことがありました。でも、分析したデータをもとに客観的にフィードバックすると、明らかに選手の動きが変化しました。これを機に情報戦略という側面からチームに貢献できるアナリストという仕事に興味を持ちました」。それから2年後、当時トップリーグだったNTTDコモレッドハリケーンズから声が掛かり、本格的にアナリストとしてのキャリアをスタートすることに。日々の練習や試合で膨大なデータを収集して分析し、チームや個々の強みと課題を見つけ出し、分かりやすくシンプルなアドバイスで

# 夢中になって学んだことが 自らの財産になっている

学ぶことの面白さに目覚め  
尊敬できる恩師と出会った

「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」など、福岡市では今、大規模な再開発事業が進んでいます。そのような福岡市の職員として、都市計画課でまちづくりに携わっている淡島正憲さん。大学時代から希望していたまちづくりの仕事に関わることができて、充実した毎日を送っています」と穏やかに語ります。

高校生のときに理数系科目が得意で、漠然と土木の分野に関心を持ち、第1志望だった福岡大学工学部社会デザイン工学科に進学。「高校までの5教科や副教科と違い、興味のある専門分野についてとことん学べることがとにかく楽しかった」と振り返ります。中でも、淡島さんの進路に大きな影響を与えたのが、柴田久教授です。

まちづくりに興味を持った淡島さんは、景观設計や公共空間のデザイン、まちづくりを専門とする柴田教授の「景観まちづくり研究室」に所属。「柴田先生の研究室は、自治体や警察、企業などから仕事の依頼を受けて、九州各地でさまざまなプロジェクトを動かしており、学生も一緒に活動させてもらえ

ました。先生は私たち学生を仲間のようにつながってくださったうえで、ダメなところはきちんと指摘し、できたことは一緒に喜んでくれるとても尊敬できる先生です。人としても多くのことを学ばせていただきました」。

実務的なプロジェクトを経験して  
本当にやりたいことが見えてきた

淡島さんは在学中、警固公園の再整備プロジェクトや那珂川の護岸デザイン、長崎県対馬で歴史的な石塀の保全プロジェクトなどに携わりました。そして、自らの卒業論文のテーマに選んだのは、地域の防犯性を評価する「防犯まちづくり」に関するプロジェクトでした。

「福岡県警から地域住民の防犯意識を高めたいという相談があり、学生ながら主体的に関わらせていただきました。県警と他大学と共同で、大学周辺の公園における防犯性を高めるため、住民の皆さんにアンケートを取ったり、一緒にまち歩きをして危ないところをチェックしたり、ワークショップでは進行役を担当したりして論文にまとめました。それらを市役所などで発表することができて、とても良い経験になりました」

時代を駆ける  
先輩たち



福岡市住宅都市局  
都市計画部 都市計画課

淡島 正憲さん  
あわしま・まさのり

2012年3月、福岡大学工学部社会デザイン工学科卒業。2014年3月、福岡大学大学院工学研究科博士課程前期を修了。同年、福岡市役所に入庁。交通局を経て、2017年から住宅都市局に所属。

信頼される職員となり  
地域に貢献していききたい

2014年、福岡市役所に入庁。まちづくりに関わりたいと思っていたものの、最初の配属先は交通局。福岡市営地下鉄を管理する部署でした。「例えば、地下鉄の運行が終わった夜中に、線路のレールを一つ一つたいて、異常が無いかどうかをチェックしていました。週2回、6kmほどを歩いて…。思ってもみなかった業務でしたが、こうした地道な作業の積み重ねがあるからこそ、私たちは安全に生活できているのだと実感しました」。

そして入庁から4年目の2017年、希望していた住宅都市局へ異動になり、都市計画に関する業務に携わっています。都市計画とは、都市の健全な発展と秩序ある整備を行うために、土地の利用や施設の整備、市街地開発事業の計画を定めること。淡島さんは、地域ごとの特性に応じたまちづくりを進めるため、福岡市の人口推移や土地の利用状況を分析したり、実際に地域に入り、住民に対して都市計画に関する説明会を開いたりしています。身近な例を挙げると、地下鉄七隈線の橋本駅の南側は「市街化調整区域」に指定され、新たな開発や建築が制限されていました。しかし、鉄道駅を中心に商業・サービス機能といった機能を集積し、魅力とにぎわいを創出していくため「市街化区域」への編入を計画し、市と地元住民とで協議しながら手続きを進めたそうです。

「普段の生活では意識されていない都市計画の制度について、住民の皆さんに分か

りやすく伝えて理解を得ることは、非常に苦勞する部分です。何度も地域に足を運ぶことで信頼関係を築き、理解してもらったときはとてもうれしく、達成感があります。住民の方との向き合い方は、大学時代の経験が大いに生かされています。また、都市計画を変更するにあたっては、国や県との協議、審議会の開催などの多くの手続きが必要で、完了するまでに数年を要することもあります。根気のいる仕事ですが、自分の行ったことが住民や地域、ひいては福岡市の未来のために役立っていると思うとやりがいを感じます」

淡島さんは入庁して今年で7年目。公務員には、部署の異動が付きものです。「いつか天神ビッグバンのような大きな事業に関わってみたい」という夢があるものの、かなうかどうか分かりません。しかし、淡島さんは「都市計画だけでなく、道路や地下鉄、下水道など多岐にわたる分野で、計画や施工、管理などの幅広い業務に携わることができているのが市役所の良いところ。幅広い知識と経験を持ち、職場からも市民からも信頼されるような職員になりたい」と今では公共の仕事自体に強い使命感を抱いています。

最後に、福岡大学へ通う後輩にメッセージを頂きました。「大学の4年間は意外とあっという間に過ぎていきます。自分次第でどんなことでもできるので、ぜひ幅広い経験を積んで、意味のある濃い大学生活を送ってください。大学で学び、経験したことは、社会人になった後にも大きな財産になります」。



「知識と経験を積み、専門性を高めていきたい」と淡島さん



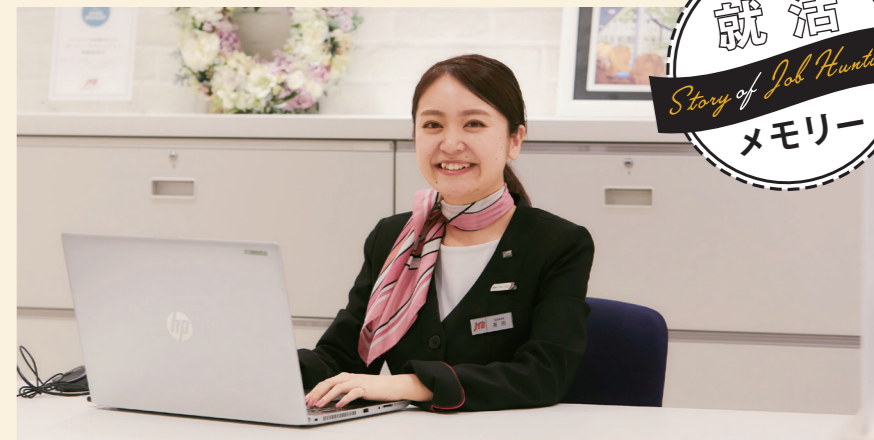
警固公園再整備プロジェクトにも関わった



学生時代、警固公園で危険箇所がないか調査する淡島さん(右から2人目)



「地域に貢献できる仕事にやりがいを感じています」



## 周りに影響されず 自分と向き合えば 縁はつながる

株式会社JTB  
プライダール部 ウエディングプラザ福岡本店  
高田 有莉咲さん  
(人文学部フランス語学科 2017年卒業)

### ウエディングと旅を通して 一生の思い出をつくるお手伝いを

株式会社JTBで、海外や国内の挙式場選びからハネムーンに至るまで、ウエディングに特化した幅広い提案をしている高田有莉咲さん。  
旅行に関心を持ったのは大学2年次の語学研修。留学先のベルギーで、人種や言語が入り混じる多様な環境に衝撃を受けたそうです。「行かないと体験できないことがたくさんある。人生を豊かにする旅ですごくいい！と旅行に魅了されました」

しかし就職活動を始めた3年次前期は、業界を絞りきれずさまざまな会社にエントリー。「周りには進路が明確な人が多く、戸惑いましたが、自分を見失わないように努めました。親や友人に私の強みや弱みを尋ね、客観的に自分と向き合いました」

就職・進路支援センターで個人面接の練習を重ね、集団面接ではリラックスして本来の自分が出せるよう心掛けたと言います。企業説明会で感じた、社員同士が助け合いながら働く社風や、企業の歴史に共感を覚え、旅を軸に幅広く仕事ができるJTBに絞り込みました。

「内定が取れない焦りを抱きながらも、最終的には最も希望する会社に思いが伝わり、内々定を得ました。就活はまさにご縁だと実感しました」

心を癒やす旅の大切さを改めて感じるコロナ禍の今、「対面接客の私たちにしかできないことがきっとある。これからも新郎新婦様の一番近くで、一生の思い出をつくるお手伝いをしていきます」と、明るく前向きな表情で話してくれました。



## 遠回りでも 目標を見失わず 何度もチャレンジ

福岡県立  
小倉南高等学校校定時制  
教諭  
牛島 直輝さん  
(スポーツ科学部スポーツ科学科 2016年卒業)

### 恩師との出会いが夢を後押し 生徒に寄り添う教員を目指す

昨年から県立高校に勤める牛島直輝さん。この仕事を意識したのは、中学時代の進路指導で受けた「教師に向いている」というアドバイスからでした。その後、高校陸上部の先生との出会いで夢は具体化していきます。「人生の指針を持たない青少年期、先生は生徒にとって家族の次に身近な大人で、特別な存在です。その先生は、牛島さんの特性を見抜いてハンマー投げを勧め、部活外の状況まで把握した上で指導していただきました。厳しさの中に優しさがあり、こんな教師になりたいと思っただけです」

大学ではスポーツ科学部の野口安忠先生に大きな影響を受けます。陸上競技部に所属し、ハンマー投げという競技を通じて人間力を高める指導を受け、コーチ学を学びながら理想の教師像などについても語り合いました。

二人の恩師との出会いで決意を固め、教員採用試験を目指します。「採用試験に向けた勉強は学部内で十分できた」と牛島さんは言います。しかし狭き門ゆえ1年度での合格はかなわず、卒業後は県内の高校で生徒を補助する支援員として勤務し、本学のキッズ陸上教室の指導者も務めながら挑戦を続けました。前を向き続けた理由は、「合格が目的ではなく、生徒一人一人を手助けする教師が目標だったから」。採用まで4度の挑戦を経ましたが、全ての経験が、年齢や生活環境の異なる定時制高校での指導に生きています。「夢に近づいたけれど理想の教師にはまだ遠い。教師という仕事は奥が深いです」と話す牛島さん。だからこそ自身の成長とやりがいを感じるのだとか。理想の姿に向かって牛島さんの歩みは続きます。

### 就職課程を履修しながら就職活動 何ごともムダにならないと実感

株式会社西日本シティ銀行でフィナンシャル・アドバイザーを務める荒木優希さん。教員を目指して大学に進学し、4年次に前に将来について家族や友人に相談したところ、「広い視野を持つために就職活動もしては？」という意見を聞き、教員免許取得と並行して就職活動の準備を開始しました。しかし時はすでに3年次の冬。周囲から半年遅れてのスタートでした。

そこで最初に行ったのは自己分析と企業研究です。就職・進路支援センターで情報を得たり、教授や先輩に話を聞いたり。ゼミの研究をきっかけに中小企業を支える地方銀行に魅力を感じて第一志望とし、興味を持った企業に次々とエントリー。教育実習が始まると多忙を極めました。遅れを取り戻そうと必死で取り組みました。

「目標とそのため課題を明確にし、とにかく自分が動く」という長所をアピールして第一志望の西日本シティ銀行に内々定。もっと早く活動を始めていたら、落ち着いて採用試験に臨めたかもしれないと振り返りながらも、「遅過ぎることはありません。思った時から企業研究を始めたら大丈夫。とにかく行動することが大事です。何ごともムダにならず、就職課程で学んだことは今、後輩の指導に役立っています」。

入行後、お客さまのライフプランに寄り添う地方銀行の良さを肌で感じている荒木さん。「商品知識を身に付け、ゆくゆくは融資を担当して中小企業を支えたい」。大学時代にゼミで学んだ知識を生かしたいと話します。

### 教壇に立つ姿を具体的にイメージ 失敗を経験に変え、夢にまい進

「教えるのが上手」という友人の言葉をきっかけに教師の道を意識し、本学で就職課程を履修した東弘樹さん。初めは心が定まらず、就職説明会にも足を運んだと話します。しかし、就職課程で共に学ぶ仲間の熱い思いに触れたことをきっかけに、2年次生の時に教師を目指すことを決意しました。

その後は計画を立てて準備をスタートさせます。専門外の知識を学ぶことも考え、研究室は生物化学分野を選択。エクステンションセンターの講座にも参加しました。高校時代、さまざまな勉強法に手を広げ過ぎてしまった反省から、「将来の姿を具体的にイメージし、戦略を練って準備を進めることが大事」と話します。

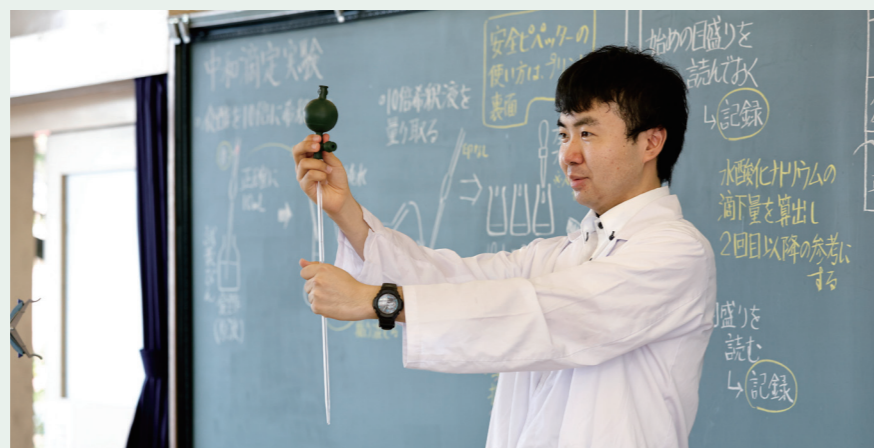
さらに、学部を越えた就職課程の仲間も在り、東さんの目標達成を後押ししました。集団討論や模擬授業の練習などを通して視野も広がり、各自の目標や熱い思いを書き込んだ共有の「目標達成ノート」を見るたびにやる気になったと言います。

そうして迎えた教員採用試験。実験の実践試験で東さんは試験の順番を間違えてしまっています。しかし、翌日の面接に向けて「目標達成ノート」を取り出し、今日に至るまでの思いを振り返って、自分ではできる！と奮起し、見事合格を勝ち取りました。

教えるのが好きで教師を志した東さんは今、「教室で過ごす生徒の姿を見ることが幸せ。ここに至るまで迷いや挫折もあったけれど、そのおかげで今がある」と話します。失敗も含めたさまざまな大学での経験が、教壇に立つ東さんの大きな礎となっています。

## 仲間と励まし合い プラスの言葉で 自信を持とう

福岡県立福岡中央高等学校  
教諭  
東 弘樹さん  
(理学部化学科 2016年卒業)



## 出遅れても諦めず 行動し続ければ 挑戦が実を結ぶ

株式会社西日本シティ銀行  
須恵支店  
荒木 優希さん  
(経済学部産業経済学科 2017年卒業)





# 「地域医療支援病院」として 地域の方々の信頼に応える

大学病院では全国で初めて  
地域医療支援病院に認定

福岡大学筑紫病院は、1985年に筑紫野市に開院しました。以来、筑紫医療圏（筑紫野市、太宰府市、大野城市、春日市、那珂川市）の基幹病院として地域医療の充実を目指してきました。2007年には、他の大学病院に先駆けて全国初となる「地域医療支援病院」の認定を受け、さらに、2016年には「地域がん診療病院」にも指定されました。

病院長の柴田陽三先生は、福岡大学筑紫病院の現状について、以下のように話します。

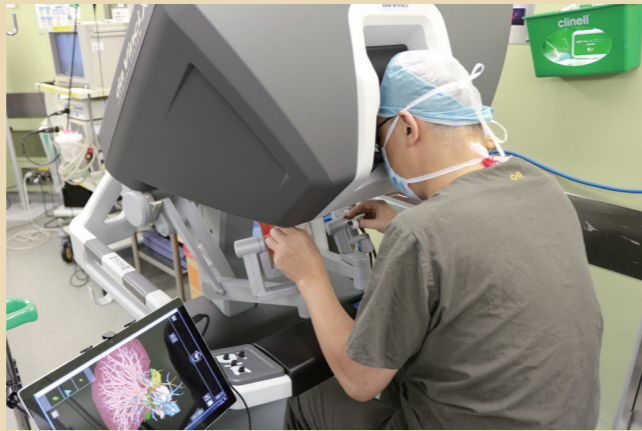
大学病院として高度先進医療を提供する一方で、地域にしっかり根差した病院を目指しています。近隣の医療機関から相談を受けたり、研究会や講習会を積極的に開催することに加え、急性期の治療を終えた患者さんを紹介元の医療機関に返すなど、地域の医療機関と役割を分担して、より良い医療を速やかに提供できるよう努めています。

また、小児科においても、当院は福岡徳洲会病院とともに小児医療（救急を含む）の中核病院として重要な役割を担っています。

新病院棟を開院した2013年には、「第二種感染症指定医療機関」にも指定されました。感染症病床2床を備え、結核や鳥インフル



ダビッチを使った手術の様子



執刀医は操縦コックピットからダビッチを操作

エンザ、今回のような新型コロナウイルス感染症などが発生すると、行政からの要請により患者を受け入れられます。まだ病態がよく分らず、特效薬もないような感染症に対応するためには、特別な医療体制を敷かなければなりません。当院では、今年2月に新型コロナウイルス感染症の対策チームを立ち上げ、以降、日々移り変わる状況に合わせて適切に対応しています。

新型コロナウイルス感染症にも  
強い使命感を持って対応

第二種感染症指定医療機関としての責務

## の系譜



### 福岡大学筑紫病院

1985年6月に開設、2013年に新病院棟を開院。15の診療科からなり、「あたたかい医療」を理念に掲げて実践している。地域医療支援病院、地域がん診療病院、第二種感染症指定医療機関の指定を受け、小児救急医療も担う。病床数は310床。

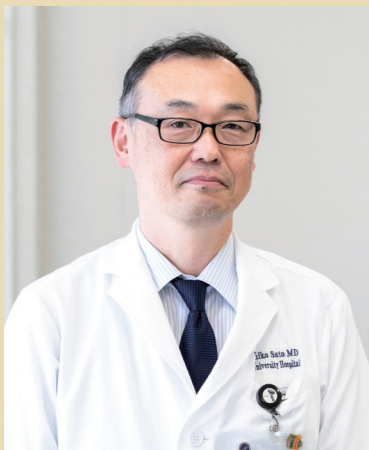
病院長 柴田 陽三 教授

## ヒポクラテス

### 福岡大学病院 最先端ロボット手術センター

2020年4月に開設。本病院は2008年2月に地域がん診療連携拠点病院に認定され、2015年から消化器外科や腎泌尿器外科、呼吸器外科、婦人科の各診療領域でロボット支援手術を行ってきた。プロクター8人、メンター2人（消化器外科と呼吸器外科）が在籍。

センター長 佐藤 寿彦 准教授



米国で開発された「ダビッチ」が日本で使われるようになり、10年以上が経ちました。ダビッチは腹腔鏡手術等に使われる手術支援ロボットです。患者さんの体に小さな穴を数カ所開け、ロボットアームや内視鏡を挿入します。医師は手術台の脇から3Dモニター画面を見ながら

啓発・教育・連携のため  
専門のセンターを設立



を果たすため、感染症病床2床に加えて、ひとつの病棟を閉鎖し、新型コロナウイルス感染症専用の4床を別に確保しました。その他の対策として、明確なゾーニングをはじめ、防護服、マスク、ゴーグルの着用を徹底したり、感染症の疑いがある患者の動線を確保したりと、高い緊張感のもとでできる限り適切な体制を整備・維持してきました。さらに、国や自治体からの要請や問い合わせにも対応すべく、医師会や地域の医療機関などとの連携を強化しています。一方で、状況に応じて一般の外来診療や手術、入院などを制限する必要もあり、経営面では苦しい状況にあります。それでも全職員が強い使命感の下に結束し、全力で一歩一歩前に進んでいます。

最後に、今後の抱負について伺いました。しばらくは未曾有の感染症に対応せざるをえない厳しい時期が続きますが、新型コロナウイルス感染症対応によって病院内のチームワークが強まり、これまでは気付かなかったワークフローの改善、問題点の洗い出しができたことは大きなプラスであると捉えています。今回の経験を糧に、地域医療支援病院として、今以上に地域での医療機関や患者さんの信頼に応えられるような病院を目指したいと考えています。

## 九州におけるロボット手術の 中核として普及に努める

機器を操作し、手術を行います。福岡大学病院では2015年に「ダビッチX1システム」を導入し、消化器外科と腎泌尿器外科、呼吸器外科、婦人科の各診療領域でがん治療などに利用してきました。

2020年4月に「最先端ロボット手術センター」を新設。佐藤寿彦センター長は、センター開設の意義をこう話します。「一つはロボット手術を希望する方に広く知っていただくこと。本病院ではロボット支援下の手術を年間200例ほど施行しており、さらに広めていきたいと思っています。二つ目は、教育施設としての役割を果たすことです。ここにはプロクターという、ロボット支援手術を安全に導入するための専門的な指導を行える外科医が8人、さらにロボット外科医になるための講習・指導を行うメンターが2人在籍しています。ダビッチを使うためにはトレーニングを受け、メンターがいる認定施設での手術見学が必須です。九州初の認定施設である本病院は、日本各地から来る医師の指導にも力を入れています。三つ目は、科の枠を越えた連携です。これまで各診療科が個別にロボット手術の診療を行っていたのですが、ロボット手術に関わる全ての職員にも参加してもらい、センター化しました。学び合うことで見識や技術を高め、より安全に質の高い医療を提供できる体制が整いました。」



専門的な知識と技能を備えたスタッフが抗がん剤治療など、高度な化学療法を提供



2013年に新病院棟を開院した福岡大学筑紫病院

公的保険の適用によって  
高まるニーズに応える

佐藤先生は日本で6人しかいない呼吸器領域のメンターの1人です。ダビッチが日本で導入される数年前にいち早く操作を体験し、その精度に驚いたと言います。この8年間で手術実績を積み重ね、「ロボットアームは自由度が高く、細かく難しい作業でもスムーズにできるため、外科医の大きな助けとなります。患者さんにとっては体への負担が少なく、術後の回復が早いのも利点です。一方で、執刀医に臓器等の触感がないため、ロボット手術に特化して覚えにくいといけなことがたくさんあります。十分な経験と教育が重要なのです」と力を込めます。

ロボット支援手術は、2018年から公的保険が適用されるがんや疾患が増え、身近な存在になってきました。ロボット手術をできる医師のニーズはさらに高まると予想されます。「ダビッチを使えば仕事や日常生活に早く復帰できますし、公的保険の対象になったことで多くの人が受けやすくなったのは大変喜ばしいことだと思います。より多くの人が安全で精度の高いロボット手術を受けられるように、私たちは病院、そして教育施設として使命感を持ち、高みを目指していきます。」

## 学ぶ意欲を 経済面からサポート 福岡大学独自の支援制度

福岡大学では、家計の事情によって学生生活に支障をきたすおそれのある学生を対象に、本学独自の奨学制度を設けています。学びに対する前向きな意志と優れた能力を持つ人材が、経済的な理由で修学を諦めるのは遺憾なことであり、本学にとって大きな損失であると考えます。

具体的には、返還義務のない「福岡大学給費奨学金」「福岡大学学生サポート募金給費奨学金」「返還義務はありますが無利子の「福岡大学奨学金」「福岡大学有信会奨学金」のほか、特に優秀な学生を表彰する「福岡大学特待生」や、保護者の失職・死亡などで家計が窮乏し修学が困難になった学生を対象にした「緊急貸与」などがあります。本学ではこれらの制度をもとに、学生が経済的な理由で夢や志を断念することがないように、支援を行っています。

この他、日本学生支援機構奨学金や地方自治体、民間育英団体が実施している奨学制度もあります。少しでも悩みや疑問があれば、まずは学生課の窓口にご相談ください。保護者の方からの相談にも対応しています。

奨学・特待生制度の恩恵を受けた人はもちろん、学生の皆さんは社会に支えられていることを忘れずに、将来は社会に恩返しができるよう、一層勉学に励んでください。

## 令和2年度 福岡大学特待生

- 人文学部**
- 文化学科
  - 竹之内 麻里
  - 北條 里菜
  - 若林 優大
  - 仲西 奈名美
- 歴史学科
  - 森 美月
  - 久原 佑樹
  - 西依 由里香
- 日本語日文学科
  - 宮本 璃矩
  - 蘭 佳乃
  - 上野 朋佳
- 教育・臨床心理学科
  - 表谷 麗奈
  - 高橋 伶奈
  - オランダ ヤコボ
  - 野上 土筆
- 英語学科
  - 甲斐 茉莉穂
  - 北川 蓉華
  - 佐藤 陸
- ドイツ語学科
  - 村島 凌平
  - 岩熊 彩乃
  - 岩崎 ひなた
- フランス語学科
  - 重松 佳奈
  - 今尾 彩乃
  - 有馬 優友
- 東アジア地域言語学科
  - 濱口 真妃
  - 森 明日香
  - 柴田 莉緒
- 法学部**
- 法律学科
  - 鈴木 駿太
  - 山路 洋志
  - 藤田 麻優
  - 加賀田 侑希

- 野口 智生
- 石山 優花
- 坂口 祐太
- 馬場 史佳
- 井手 湖雪
- 比嘉 結衣
- 神谷 小夜子
- 関戸 遥香
- 近江 輝法
- 寺田 皓士
- 岡松 みのり
- 山本 寛起
- 荒駒 大和
- 浅野 友紀
- 経営法学科
  - 中山 里佳子
  - 池田 詩織
  - 馬場 沙織
  - 鍛冶屋 真愛
  - 世戸 吹樹
  - 桑野 千裕
  - 玉城 緋奈子
  - 宮地 志郎
  - 小原 碧衣
- 経済学部**
- 経済学科
  - 小川 桜子
  - 永田 健人
  - 高瀬 史織
  - 黒川 祐希
  - 赤峰 尚美
  - 御幡 隆聖
  - 庄司 美紅
  - 源川 知将
  - 落合 達也
  - 加来 朋也
  - 松田 朋也
  - 津田 翔太
  - 前澤 舟太郎
  - 中島 千尋
  - 平木 那奈
  - 河野 隆朗

- 三原 龍哉
- 大山 瑞月
- 西内 智哉
- 産業経済学科
  - 木村 太一
  - 灰塚 瑞季
  - 北本 颯真
  - 村岡 周平
  - 久保 孔明
  - 奥田 修平
  - 樋口 菜々美
  - 伊藤 真幸
  - 田川 巧龍
- 商学部第二部**
- 商学科
  - 小田 敦渡
  - 垣花 展輝
  - 菊田 悠介
  - 丸山 桃佳
  - 玉城 佳純
  - 伊藤 諒祐
  - 牟田 晃大
- 商学部**
- 商学科
  - 野田 みちる
  - 藏田 悠杜
  - 奥松 香純
  - 藤村 美桜
  - 川原 千佳
  - 市村 海斗
  - 倉又 衣月
  - 松尾 愛海
  - 田中 恵莉
  - 百崎 岳志
  - 橋本 直美
- 経営学科
  - 宗 希海
  - 大川内 幸江
  - 實本 華子
  - 江崎 希世加
  - 川口 紗弥
  - 古野 真理
  - 副島 遥
  - 加藤 圭介
  - 西田 真悠
  - 段ノ上 颯太
- 貿易学科
  - 林 泰成
  - 高橋 巧
  - 築地 絵実菜
  - 末松 徹也

- 佐土原 晶
- 潮崎 紘武
- 酒井 裕薫
- 岩川 麻貴
- 理学部**
- 応用数学科
  - 米倉 脩真
  - 古賀 裕太
  - 江藤 怜
- 物理科学科
  - 藤村 大夢
  - 時 優太
  - 山田 怜央奈
- 化学科
  - 猪股 志帆
  - 光岡 和真
  - 吉田 彩
- 地球圏科学科
  - 錦 礼佳
  - 杉山 妃奈
  - 山口 藍加
- 工学部**
- 機械工学科
  - 飯田 真大
  - 井手 俊佑
  - 鈴木 順
  - 濱田 京助
  - 濱田 元斗
- 電気工学科
  - 中村 昇磨
  - 田中 響

- 川崎 心平
- 大石 侑叶
- 稲原 裕也
- 電子情報工学科
  - 井上 皓平
  - 小田嶋 修
  - 大林 聖司
  - 深川 悠馬
  - 國信 綾斗
- 化学システム工学科
  - 本村 紅稀
  - 太田 みなみ
  - 塩満 明佳
  - 岸川 将大
  - 末次 真梨
- 社会デザイン工学科
  - 丸山 千裕
  - 三島 幸騎
  - 遠山 輪
  - 市丸 詩織
  - 竹田 優里
- 建築学科
  - 田中 翔
  - 西島 佳紅
  - 俵坂 晏花
  - 齊藤 龍之介
  - 恒富 春香
- 医学部**
- 医学科
  - 糸洲 真希子
  - 田岡 慶大
  - 後藤 貴子
  - 河端 諒真
  - 栗津 遼
  - 大山 真実
  - 齊藤 輝
  - 秋吉 里保
  - 園田 キララ

- 賀村 奈生
- 稲月 啓音
- 竹本 愛香
- 薬学部**
- 薬学科
  - 伊良波 麻依
  - 岩永 桃佳
  - 伊藤 のどか
  - 江頭 順子
  - 白川 有希乃
  - 安藤 菜央
  - 吉岡 菜里恵
  - 灰原 沙希
  - 簗田 恋
  - 森川 侑里
  - 浅田 健人
  - 橋本 楓乃
  - 三原 悠菜
  - 盛田 友里絵
  - 津波古 菜々子
  - 賀来 和泉
- スポーツ科学部**
- スポーツ科学科
  - 吉田 幸平
  - 十河 和典
  - 富田 琴音
  - 山本 実侑
  - 竹山 侑作
  - 丸野 麗那
  - 幸喜 滝
  - 安立 雄斗
  - 中村 梨紅
  - 末吉 慶如
  - 碓 香菜子
  - 重松 泰成
  - 山崎 莉奈

敬称略  
※学部・学科ごとに掲載  
計 200人

### 福岡大学特待生制度

対象年次：学部2年次以上

前年度の学業成績ならびに品行が特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。全学部学科の2年次以上の学生から約200人が選ばれ、奨学金として30万円が授与されます。

### 高等教育の修学支援新制度

対象年次：学部1年次～6年次

本学は、文部科学省が令和2年4月から実施を開始した高等教育の修学支援新制度の、令和2年度の対象校となっています。支援内容は、授業料等減免と給付型奨学金で、いずれも大学を通じて申し込みを行っていただきます。詳細については、本学公式ウェブサイトを参照ください。

### 福岡大学独自の奨学制度

奨学制度の種類別	福岡大学給費奨学金(一号)	福岡大学給費奨学金(二号)	福岡大学学生サポート募金給費奨学金	福岡大学利子補給奨学金	福岡大学有信会奨学金(貸与)	福岡大学奨学金(貸与)	福岡大学奨学金(緊急貸与)
支給形態	給付	給付	給付	給付	貸与(無利子)	貸与(無利子)	貸与(無利子)
趣旨および資格	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障をきたすおそれのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	課外教育活動において、極めて特異な能力を有し、かつ、優れた業績を示した者を育成する制度です。	修学の意欲および能力があるにもかかわらず、経済的に修学困難な学生を援助する制度です。	本学が提携する金融機関の教育ローンに、在籍期間中の利子相当額の全部または一部を給付する制度です。	学部卒業見込みで原級歴のない最終学年次生であり、卒業単位まで20単位未満の学生に貸与する制度です。	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障をきたすおそれのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	家計支持者の失職、死亡その他の理由により家計が急変し、修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。
対象年次	2年次以上(学部)	全学年(学部)	全学年(学部)	全学年(学部)	最終学年次(学部)	全学年(学部)	全学年(学部)
出願時期	4月中旬	12月	5月と11月	12月下旬	4月中旬	4月中旬	随時出願可能
給付・貸与内容	●文系30万円(商二部は15万円) ●理系50万円 ●単年度採用	●60万円以内 ●単年度採用	●30万円 ●単年度採用	●医学部医学科を除く学部・学科5万円以内 ●医学部医学科10万円以内	●50万円 ●期間:1年間	●64万円を限度 ●単年度採用	●64万円を限度 ●単年度採用
返還義務の有無	なし	なし	なし	なし	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還
2019年度採用実績	197人	10人	6人	19人	6人	127人	—

### その他の奨学制度

奨学制度の種類別	日本学生支援機構「第一種奨学金」	日本学生支援機構奨学金(緊急)	日本学生支援機構「第二種奨学金」	日本学生支援機構奨学金(応急)	日本学生支援機構「給付奨学金」	各種育英会・奨学団体奨学金(給費・貸与)
支給形態	貸与(無利子)	貸与(無利子)	貸与(有利子)	貸与(有利子)	給付	給付・貸与あり
趣旨および資格	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準(学力・家計・人物・健康)を満たすことが必要。	家計支持者の失職、死亡その他の理由によって家計が急変し修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準(学力・家計・家計急変し修学が困難になった場合の緊急の貸与やか)を満たすことが必要。	家計支持者の失職、死亡その他の理由によって家計が急変し修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	経済的に困難な学生を支援する新しい制度です。新しい給付奨学金の対象者は大学へ申請することにより、最大で年間70万円の授業料減免を受けることができます。	地方自治体や民間育英団体による奨学制度です。詳しくは学生課にお問い合わせください。
出願時期	4月中旬	随時出願可能	4月中旬	随時出願可能	春と秋に在学採用の受付を予定しています。	—
給付・貸与内容	月額2万円から6万4千円まで、通学形態や家計基準によって選択できる金額が異なります。貸与開始:4月 貸与期間:標準修業年限を限度(薬学部および医学部医学科は6年、その他の学部・学科は4年)	貸与額は第一種奨学金と同じ。貸与開始:12カ月以内で家計急変の生じた月まで遡及可能。貸与期間:第一種奨学金に準じる。	月額42万円から12万円まで、選択できる金額が異なります。月額12万円を選択した場合には、医学部医学科生は4万円、薬学部生は2万円の増額を希望することができます。貸与開始:4月～9月の希望月 貸与期間:第一種奨学金に準じる。	貸与額は第二種奨学金と同じ。貸与開始:12カ月以内で家計急変の生じた月まで遡及可能。貸与期間:第一種奨学金に準じる。	月額は12,800円から75,800円まで、通学形態や支援区分によって異なります。※支援区分は世帯構成や年収などで異なります。	—
返還義務の有無	あり	あり	あり	あり	なし	—
2019年度採用実績	186人	3人	275人	6人	—	39人

※これらの奨学金は応募条件等がそれぞれ異なりますので、事前に内容の確認をしてください。内容は2020年度の制度であり、2021年度は変更になる可能性があります。

現在、福岡大学では募金活動に取り組んでおり、その趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご支援が寄せられています。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。

福岡大学学生サポート募金へのご支援のお願い

福岡大学学生サポート募金は「本学の学生に対する全人教育の推進、豊かな学生生活の形成を支援する制度」として、在学生、卒業生、保護者、大学の相互の絆をより一層深めるとともに、本学独自の醸成を図ることを目指しております。

①入学前予約型奨学金

新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、健康面・安全面を考慮し、授与式を中止し、6月5日(金)に奨学生証を139人の学生へ送付しました。

②経済的困難学生に対する支援

新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、健康面・安全面を考慮し、授与式を中止し、7月6日(月)に奨学生証を3人の学生へ送付しました。

「今回家計が急変するまでは、このような奨学金制度および奨学金が寄付によって成り立っていることを、知りませんでした。寄付者の皆さま、本当にありがとうございました。本来ならば直接お礼を言わなければならないのに、文章でしか伝えられず申し訳ありません。私も将来、社会人として後輩たちを支援したいと思うきっかけとなりました。これから、より一層勉学に励みたいと思います。」(3年次生)

「今回、サポート募金としてご寄付いただいた方々の支援によって奨学金をいただくことになり、とても感謝しています。このたびはいただいた奨学金は決して無駄にはせず、今後学業に集中していくための第一歩として大切に活用します。この奨学金のおかげで、以前よりも質の高い環境で集中して勉強に励むことができています。残りの学生生活の間、勉学をはじめ、さまざまなことにチャレンジし、悔いの無いように過ごしたいと思っています。改めて、今回ご寄付いただいた皆さま、本当にありがとうございました。」(3年次生)

③国際交流に関する支援

平成31年2月より10カ月間、中国に留学した学生に対し、留学支援金として10万円(月1万円)を支給しました。奨学金を受給した学生の声は次のとおりです。



福岡大学学生サポート募金(掲載第25回)

Table showing donation status by usage for FY2020 and FY2021 (April-June). Columns include '用途' (Usage), '令和元年12月までの寄付金額(円)' (FY2020 total), '令和2年1月～6月寄付金額(円)' (FY2021 partial), and '寄付金累計額(円)' (Cumulative total).

Table showing donation status by target group for FY2020 and FY2021 (April-June). Columns include '募金対象者' (Target group), '令和元年12月までの寄付金額(円)' (FY2020 total), '令和2年1月～6月寄付金額(円)' (FY2021 partial), and '寄付金累計額(円)' (Cumulative total).

福岡大学古本募金. Read the book and donate via DVD to Fukuoka University. Contact: 0120-29-7000.

学校法人福岡大学への寄付は... [募金のご報告] 50人, 202,447円 (688,545円) in total. Includes a 50% tax reduction benefit.

Main table listing donor names and amounts. Includes sections for '卒業生' (Alumni), '在学生の保護者' (Parents of current students), '職員・役員' (Faculty/Staff), and '企業等法人・その他' (Corporations/Other).

学校法人福岡大学への寄付者ご芳名一覧. Table listing 49 corporate donors and their contribution amounts.



福岡大学新自修寮完成予想図



福岡大学新体育寮完成予想図

## 新自修寮建設募金／新体育寮建設募金概要

- 目標額 各募金事業 1億円
  - 寄付金額 個人／一口1万円 (一口未満のご寄付もありがたくお受けいたします) 法人・団体／一口の金額は特に決めておりません。
  - 申込方法 PCやスマートフォンなどを利用したインターネット募金、振込による申し込みが可能です。
  - 募集期間 令和元年9月～令和4年3月
  - 寄付者顕彰 寄付累計額が基準を満たした方には寄付者名を刻んだ寄付者銘板の設置や感謝状の贈呈などの顕彰をさせていただきます。
- 募金の詳細は、募金専用ウェブサイトをご覧ください。  
福岡大学財務部助成課までご連絡ください。

福岡大学新自修寮は、福岡大学のプレゼンスを更に強固なものとするため、60年以上の長い伝統を受け継ぎながらも、最新の設備で寮生・大学・保護者・地域がつながる「スマート学生寮」を目指します。

福岡大学新体育寮は、世界に羽ばたくアスリートを支え、福岡大学のプレゼンスを更に強固なものとする「アスリートのための専用寮」として、最新の建築技術を使用した空間づくりを行います。

## 福岡大学新自修寮建設募金 福岡大学新体育寮建設募金 ご支援のお願い

## 〈完成予想図〉



## プール募金概要

- 目標額 2億円
  - 寄付金額 個人／一口 1万円 (一口未満のご寄付もありがたくお受けいたします) 法人・団体／一口の金額は特に決めておりません。
  - 申込方法 PCやスマートフォンなどを利用したインターネット募金、振込による申し込みが可能です。
  - 募集期間 平成30年7月～令和3年3月
  - 寄付者顕彰 寄付累計額が基準を満たした方には寄付者名を刻んだ寄付者銘板の設置や感謝状の贈呈などの顕彰をさせていただきます。
- 募金の詳細は、募金専用ウェブサイトをご覧ください。  
福岡大学財務部助成課までご連絡ください。

福岡大学新室内プール(仮称)は学生の保健体育科目、専門教育科目、課外教育活動はもとより、幅広い年齢層を対象とした教室、スポーツイベント開催などにより、地域や社会に貢献する場として後世の人々に永く愛される魅力的な施設となることを目指します。

## 創立85周年記念 福岡大学新室内プール(仮称) 建設募金へのご支援のお願い

## 福岡大学新自修寮建設募金(掲載第2回)

### 寄付金受入状況(募金対象者別)

令和2年6月30日現在

募金対象者	令和元年12月までの寄付金額(円)	令和2年1月～6月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	10,000	626,000	636,000
在学生の保護者	20,000	120,000	140,000
職員・役員	1,040,000	327,000	1,367,000
企業等法人	12,500,000	0	12,500,000
その他	0	5,001	5,001
合計	13,570,000	1,078,001	14,648,001

- 卒業生 ■ 10万円 谷 知允 様  
■ 5万円 国近 和文 様  
■ 3万円 八浪 隆弘 様  
■ 2万円 本松 茂輝 様  
■ 1万円 田中 俊宣 様  
石村 茂利 様  
石田 俊彦 様  
藤園 哲也 様  
梶原 英二 様  
田中 慎也 様  
簡井 美穂 様  
中嶋 謙一 様  
早野 豊明 様  
廣瀬 好巳 様
- 在学生の保護者 ■ 10万円 町田 正治 様  
■ 5万円 村田 和昭 様  
■ 3万円 山本 毅 様  
■ 2万円 安住 宗雄 様  
■ 1万円 北脇 正章 様  
杉本 広文 様  
匿名様 6人
- 職員・役員 ■ 10万円 藤原 清 様  
匿名様 1人  
(退職者・学外理事等を含む)
- 企業等法人・その他 ■ 1万円未満 三村 蓮 様  
匿名様 1人  
※令和2年1月1日から6月30日までの寄付者のご芳名を掲載

## 福岡大学新体育寮建設募金(掲載第2回)

### 寄付金受入状況(募金対象者別)

令和2年6月30日現在

募金対象者	令和元年12月までの寄付金額(円)	令和2年1月～6月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	10,000	181,000	191,000
在学生の保護者	30,000	100,000	130,000
職員・役員	1,020,000	442,000	1,462,000
企業等法人	12,500,000	0	12,500,000
その他	0	3,001	3,001
合計	13,560,000	726,001	14,286,001

- 卒業生 ■ 5万円 秋丸 和彦 様  
■ 3万円 今村 律子 様  
■ 2万円 小野寺 一浩 様  
■ 1万円 菊池 孝志 様  
匿名様 2人
- 在学生の保護者 ■ 10万円 柳 幹男 様  
■ 5万円 山口 龍三 様  
■ 3万円 久我 秀一 様  
■ 2万円 永田 和江 様  
■ 1万円 古江 美保 様  
松本 祐一 様  
匿名様 1人
- 職員・役員 ■ 10万円 藤原 清 様  
匿名様 1人  
(退職者・学外理事等を含む)
- 企業等法人・その他 ■ 1万円未満 谷口 剛 様  
匿名様 1人  
※令和2年1月1日から6月30日までの寄付者のご芳名を掲載

## 創立85周年記念福岡大学新室内プール(仮称)建設募金(掲載第7回)

### 寄付金受入状況(募金対象者別)

令和2年6月30日現在

募金対象者	令和元年12月までの寄付金額(円)	令和2年1月～6月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	3,332,000	1,944,000	5,276,000
在学生の保護者	644,000	200,000	844,000
職員・役員	5,160,000	580,000	5,740,000
企業等法人	26,261,000	0	26,261,000
その他	100,000	1	100,001
合計	35,497,000	2,724,001	38,221,001

- 卒業生 ■ 10万円 猪野美喜子 様  
■ 5万円 岡本 輝篤 様  
■ 3万円 渡辺 保恵 様  
■ 2万円 野田 範海 様  
■ 1万円 中垣 哲朗 様  
田村 竜也 様  
田中 秀敏 様  
高田 仁 様  
佐藤 雅晴 様  
佐々木 昭夫 様  
大久保 菜穂 様  
匿名様 1人
- 在学生の保護者 ■ 10万円 山本 高憲 様  
■ 5万円 石村 健治 様  
■ 3万円 立石 清治 様  
■ 2万円 山崎 清春 様  
匿名様 5人  
(六万円) 飯田 博隆 様  
(二万円) 安倍 修一 様
- 職員・役員 ■ 10万円 高嶋 康 様  
匿名様 1人  
(退職者・学外理事等を含む)
- 企業等法人・その他 ■ 10万円 山本 高憲 様  
■ 5万円 小川 洋 様  
■ 2万円 井元 博 様  
■ 1万円 指方 克己 様  
匿名様 5人  
(二十五万円) 米沢 利広 様  
(十五万円) 清武 玲子 様  
(五万円) 古江 美保 様  
匿名様 2人



- 今村 律子 様  
小野寺 一浩 様  
米沢 利広 様  
清武 玲子 様  
匿名様 2人  
古江 美保 様  
匿名様 2人  
匿名様 1人  
匿名様 1人

## 学校法人福岡大学への寄付者ご芳名一覧(現物寄付)

- 本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。  
ここに、令和2年1月1日から6月30日までの期間にご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。
- ミーティングチェア34脚 ————— 株式会社よかタウン 代表取締役 野島 幸司 様
  - 空調設備、横断幕ロール紙 ————— 福岡大学附属若葉高等学校後援会 様
  - リトグラフ、油彩画 ————— 令和元年度福岡大学医学部医学科卒業生一同 様
  - ポータブルワイヤレスアンプ一式 ——— 令和元年度福岡大学スポーツ科学部卒業生一同 様
  - 液晶テレビ一式 ————— 令和元年度福岡大学附属若葉高等学校卒業生一同 様
  - 名簿櫃、授業用タブレット一式 ——— 令和元年度福岡大学附属大濠中学校卒業生一同 様

募金に関するお問い合わせ先 **福岡大学 財務部助成課**

TEL 092-871-6631(代) 内線 2371・2372

FAX 092-871-6813

メール joseika@adm.fukuoka-u.ac.jp

▶ こちらのキーワードでアクセスしてください。  検索

▶ スマートフォンはこちらからもアクセスできます。 



建設中の新室内プール(令和2年8月現在)

News

福岡大学病院にECMOセンターを設立

福岡大学病院は7月1日(水)、新型コロナウイルス感染症などの重症呼吸不全の治療に特化したECMOセンターを設立しました。これにより、新型コロナウイルス感染症で重症化した患者さんを積極的に受け入れるとともに、福岡大学病院が持つECMO治療の技術や経験を各地の医療関係者に伝えることで、九州地区におけるECMO治療の技術の向上と人材育成に寄与していきます。6月30日(火)には、新聞社、テレビ局、雑誌社の13社に対して、センター設立の記者発表を行いました(ECMOセンターに関する詳細はp.7をご覧ください)。



記者発表の様子

News

八尾滋教授が主導する廃プラスチック循環利用の研究開発がNEDOの「革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発」に採択されました

工学部化学システム工学科の八尾滋教授は、廃プラスチックからバージン品と同等の強度を持つプラスチックを作る基礎研究や、機能性材料の開発を行っています。プラスチックは加工工程や使用状況によって劣化するため、選別した廃プラスチックを元のプラスチック材料と遜色ない材料に戻すには課題が多いのが現状です。

この課題が近年大きく取り上げられるようになり、このたび、八尾教授の主導する廃プラスチック循環利用の研究開発が、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の「革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発」研究開発項目【2】「材料再生プロセス開発(マテリアルリサイクル)」に採択されました。本研究開発を通して、プラスチックの劣化要因を解明するとともに、それらに立脚した材料再生・成形加工技術を開発することが狙いです。

なお、今回の研究開発は、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び民間の9企業の11者共同で実施し、本学からの再委託先として国立大学法人4大学も参画します。



News

福岡大学ものづくりセンターがフェースシールドを量産 医療機関等に無償配布

新型コロナウイルス感染症の影響で、医療現場等においてさまざまな物資が不足する事態となっていました。そこで、福岡大学ものづくりセンターでは医療現場のニーズを調査し、フェースシールドやエアロゾルボックス等を早急に製作し、福岡大学病院等に提供しました。これにより、滞りなく医療の提供を継続することができました。また、フェースシールドは多くの医療機関や教育機関で不足していたため、ものづくりセンターでは寄付金等から購入したレーザー加工機等で量産し、多くの医療機関や教育機関等に無償配布を行いました。これにより、多くの方から感謝の言葉が寄せられました。



News

新型コロナウイルス感染症の対応で特に功労のあった教職員を表彰

7月27日(月)、本学は、新型コロナウイルス感染症に係る業務で特に功労のあった教職員17人を表彰しました。表彰者は、最前線で未知のウイルスに立ち向かい、高度で専門的な技術が必要とされる中、自らや家族等の感染リスクを防ぎながら大きなプレッシャーの中で業務にあたりました。大切な命を救うための献身的な対応が特別に表彰し労うに値するとして、朔学長から表彰者に表彰状等が手渡されました。



表彰者を代表して挨拶する星野耕大医師(救命救急センター講師)



集合写真

来てみて / 話して /

## こころの整理

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談に応じます。相談内容の秘密は守りますので、安心してお越しください。

- 人間関係がうまくいかない
- 単位のことが心配 ● 朝起きられない
- 予定の管理がうまくいかない
- 授業に出るのがおっくう etc...

**費用** 無料

**開室時間** 月・水・木・金/9:30~16:30  
火 /9:30~18:30

**場所** 学生部事務室棟3階  
(1階に学生課のある建物)

● 本学学生のことであれば、ご家族や教職員からの相談もお受けしています。

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、ヒューマンディベロップメントセンターに来てみませんか? 個別の面談だけでなく、少人数の体験型活動も実施しています(授業期間のみ)。2020年度後期は、遠隔相談を行っています。

**ヒューマンディベロップメントセンター(学生相談室)** TEL:092-871-6631(代)(内線:2630)

ウェブサイトもご覧ください▶ <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm> ※お電話は平日の9:00~16:30にお願いします。 **完全予約制**

## 福大生の法律に関するさまざまなトラブルに無料で相談に応じます

例えば、こんな悩みはありませんか? | アルバイト先で不当解雇された... | 教金の返還がない... | 交通事故に遭ってしまった... etc.

**Q** ハワイの不動産に投資して、仮想通貨で利益相当する投資グループがあるので、ここに投資しないと友人に誘われました。コロナの影響でアルバイトも休みになり、高配当なので投資しようと思うのですが、大丈夫でしょうか。

**A** 投資詐欺の可能性があります。必ず投資前に、**弁護士、警察署や消費生活センターに相談しましょう。**

ハワイで不動産取引をするには免許が必要ですが、その投資グループの不動産エージェントは免許を持っていないかもしれません。実際、このような投資をした人が、ほとんど配当されず相談にくるケースが増えています。こういった投資グループは他にも、金鉱山の発掘への投資で高配当を謳うなど、手を替え品を替え詐欺類似行為を繰り返しています。十分注意してください。

浅上 紗登美 弁護士

**福岡リーガルクリニック法律事務所** TEL:092-874-9292(受付時間:平日9:30~17:30)

福岡大学60周年記念館(ヘリオスプラザ)5階 <https://www.fukuoka-legal.jp/>  
弁護士法人福岡リーガルクリニックセンター(福岡県弁護士会所属) 休業日:原則として土・日・祝日 ※事前の予約であれば、土・日や時間外も柔軟に対応します。

News

新しいウェブメディア「FUKUDAism(フクダイズム)」で福岡大学の「今」を発信中！



**サイト名:**  
FUKUDAism(フクダイズム)

「福大」と「主義・特性を意味する」  
「接尾辞(ism)」による造語



福岡大学の旬な話題・情報を発信する新しいウェブメディア「FUKUDAism(フクダイズム)」を6月に公開しました。「在学生や卒業生の活躍」「最先端の研究」「医療」「大濠中学校・高校や若葉高校の活動」など、福岡大学の「今」を知ることができるメディアになっています。本メディアでは今後も、教職員や学生が独自に取材した記事のほか、報道機関等で取り上げられた本学に関連する情報も発信していく予定です。西日本屈指の総合大学として発展する本学の勢いを、ぜひこの「FUKUDAism(フクダイズム)」を通じて感じ取ってください。

News

公式ウェブサイトです新型コロナウイルス感染症関連の情報を発信しています



新型コロナウイルス感染症の拡大により、授業や課外活動などに大きな影響が及んでいます。本学の取り組みや行動指針、お知らせ等は本学ウェブサイトおよびFUポータルで随時情報を発信しています。なお、ウェブサイトに掲出しているお知らせは、福岡大学公式Twitterでも発信しています。ぜひご確認ください。

公式ウェブサイト  公式Twitter 

第70号(通巻240号)令和2年10月15日発行  
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)  
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号 TEL:092-871-6631(代)  
E-mail: fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp PDF版は [福岡大学学園通信](#) 検索

本誌「福岡大学学園通信」に関するご感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

Topics

令和2年度「花嶋環境基金」および「廃棄物環境科学国際交流基金」の奨学金を交付

令和2年度の「花嶋環境基金」および「廃棄物環境科学国際交流基金」の奨学金を交付しました。これらの奨学金はそれぞれ、花嶋正孝名誉教授(工学部土木工学科 現社会デザイン工学科)、松藤康司名誉教授(工学部社会デザイン工学科)の在職中の研究資金などを基に設立されたもので、環境保全技術等の向上および発展に寄与する優秀な人材を育成するために交付されています。令和2年度の奨学金授与者は以下のとおりです。

- 「花嶋環境基金」奨学金**  
上村 梨央 さん(工学部 社会デザイン工学科4年次生)  
高橋 航 さん(工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程1年次生)  
東 昇央 さん(工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程1年次生)  
藤富 友祐 さん(工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)
- 「廃棄物環境科学国際交流基金」奨学金**  
深見 桜 さん(工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)  
児島 あかり さん(工学研究科 資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)

News

「セイコーゴールデンングランプリ陸上2020東京」で兒玉選手が優勝

8月23日(日)に東京・国立競技場で開かれた「セイコーゴールデンングランプリ陸上2020東京」の「女子100m」で兒玉芽生選手(人文学部3年次生)が自己ベストを0秒02更新する11秒62で優勝しました。また、「女子やり投げ」では、上田百寧選手(スポーツ科学部3年次生)が5位入賞を果たしました。



女子100mで優勝した兒玉選手

News

学友会体育部会競技成績優秀団体および学業成績優秀者を表彰しました

7月29日(水)、学友会体育部会競技成績優秀団体および学業成績優秀者の表彰式を行いました。この賞は、昨年度行われた各部の主要な大会において、極めて優秀な成績を収めた団体と、スポーツ特別推薦での入学生の中で、学年ごとの学業成績優秀者に贈られる賞です。

- 【競技成績優秀団体】**  
バレーボール部(女子)
- 【学業成績優秀者】**  
柔道部 座波 吉子 さん(スポーツ科学部4年次生)  
弓道部 大倉 依莉 さん(人文学部3年次生)  
陸上競技部 安立 雄斗 さん(スポーツ科学部2年次生)



News

「UNIVAS CUP 2020-21」が開催中

大学スポーツ協会(UNIVAS)が主催する競技横断 大学対抗戦「UNIVAS CUP」が、今年度も開催されています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が遅れていましたが、9月より各競技で熱戦が繰り広げられています。本学は、昨年度の「UNIVAS CUP」の総合ランキングで第9位、九州地区では第1位に輝いています。競技に参加する選手たちへの応援をよろしくお願いいたします。

News

令和2年度学園祭を中止します

11月1日(日)～3日(火)に開催を予定していた令和2年度福岡大学学園祭(第65回七隈祭・第22回雅祭・第40回医学祭)は、実施に向けあらゆる可能性を考慮し慎重に検討しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、やむを得ず中止することとしました。

ご来場を楽しみにされていた皆さまには大変申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。